

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1-192）」

2. 日時：令和4年11月18日（金） 10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、田尻主任安全審査官、大岡安全審査官

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長（設工認・耐震） 他15名

四国電力株式会社 原子力部 サイクル技術グループ 副リーダー

北陸電力株式会社 原子力部 原子燃料技術チーム 主任

三菱重工業株式会社 安全高度化対策推進部 主幹 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 令和4年11月8日
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年11月11日
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和4年11月15日
「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁の館です。
0:00:04	それでは原燃六ヶ所再処理施設に係る設工認に係る審査ヒアリングを開始したいと思います。
0:00:09	本日のヒアリングも音声録音で行いますので、
0:00:12	発言される際にはお名前所属等を行っていただくとともに、非公開情報に遠い、ついて撮影はしないように、沖青木をつけていただければと思います。まずは、規制庁場の出席者ですが、
0:00:24	古作調査官タジリオオオカとなっております。
0:00:28	それでは下の方から出席者の説明をいただくとともに本日の説明ない項目等について説明いただけるようお願いいたします。
0:00:36	これ、純然ナカハマでございます。
0:00:39	日本連綿側の出席者を紹介いたします。
0:00:43	サトウ。
0:00:44	タカハシセガワシミズ
0:00:48	イワタニ。
0:00:50	エビナ、宇田ヤマモト、イクラ、キド、
0:00:56	中森ナカムラ。
0:00:58	ハラダ。
0:01:00	中。
0:01:01	石原。
0:01:02	中浜。
0:01:04	三菱重工様より、佐藤様、李様、郷となります。
0:01:10	本日の案件でございますけれども火災防護及び竜巻となっております。ご確認くださいませ資料でございますけれども、現在画面共有させていただきます。
0:01:23	壁、それぞれまざる位置、
0:01:25	解決牧野 0001。
0:01:29	個別補足説明資料であります。
0:01:32	つまり 0508。
0:01:35	協力を予定してございます。それで、最後側からご説明を始めさせていただきます。
0:01:45	日本原燃の千田でございます。溶かさについてはですね 11 月 8 日にですね提出させていただいた下部 00-01、こちらについてのご説明になります。
0:01:58	今回ですね、11 月 2 日に行わせていただきましたヒアリング時にですね、少し構成添付説明書のですね構成

0:02:11	具体的な付番ですけども、そこはおかしいでしょというご指摘いただいておりますので、そこをですね 220 ページのところに樹形図書いておりますが、
0:02:23	こちらで修正を行っております。具体的には言うと 3-1 としてと火災部門に関する説明書というところで、31 日に従来の説明書 3-1 年に耐震設計に関する説明書をつけているというのが 1 点目の
0:02:41	見直しでございます。2 点目については、
0:02:48	そうですね、5 件目は 300、78 からですね耐震設計に関する
0:02:59	設計、耐震設計火災部門の耐震設計のですね書類をつけてございますが、こちらについてですね、次回衛藤飛ばすところとかがですね適切にルール通り書かれてないというところがございましたので、
0:03:14	その見直しであり、あとは、382 ページで、今回守るべきもの、耐震クラス等が記載されていないというところがございましたのでそちらの表を追加したというところ。
0:03:29	あとは 389 ページ以降にですね構造計画のところここに図面までついてましたのでここは耐震側の書き分けにのっってですね図面側は経産省側におけるというような、
0:03:42	対応を行っております。前回からの見直しは以上でございます、
0:03:50	ですね私せろう、別紙 1 方戻るんですけども、少々書き分けが現在やってる気悪うのところを受けて、適切に直させていただくんですけども、それとは別の一緒に庄野書きわけで、ちょっとこちらでですね各、
0:04:10	文章の精査を行う中で 1 点今回は入れてきてないんですけど直すべきところがございますのでこの場で申し上げて、次回とします際に、
0:04:20	直させていただきたいと思います。愛知番号で 61 ページでございますが、
0:04:28	61 ページの (2) というところで、中央制御室の系統便利影響軽減のことが書いてございます。ここ、1 章までは中操にですねと。
0:04:44	それ書いてるんですけどもこちら許可の段階でも使用済み燃料、形状貯蔵施設側の専用室もやるということを宣言しておって、
0:04:54	省側に行くんですけどもそちらの話もあるんですけど一緒の場では、就労制御室だけについて書いておいて、一緒に記載として不十分かと思っておりますのでこちらにですね f-1 失礼しました使用済み燃料受け入れ貯蔵施設の話、
0:05:12	行った上で 2 章で具体を述べる形にさせていただきたいと思っております。
0:05:19	もう 1 点、388 ページのですね構造計画と配置計画、耐震設計の方ですね、こちらについて材料選定は耐震側の構造計画、材料選定に基づき設計すると言ってるんですけども、

0:05:36	火災防護設備一般汎用品と含まれますのでちょっとそれが読めないような記載になってますのでこちらについては、それが読める記載を追記しようと思います。
0:05:47	従って、以上の2点は次回の修正。
0:05:51	次回までに修正して提出させていただきたいと思います。ご説明は以上になります。
0:05:58	はい。規制庁の田尻ですと、まず1点確認なんですけど今回火災防護設備の耐震設計の話Cを一応説明をされてる形なんですけど、ここ、耐震の方でもまた改めて説明されるのかなというふうに認識してたんですけどそこは理解合ってますでしょうか。
0:06:15	つまり、日本原燃の千田でございます。こちらについてはですね土岐が加瀬側でも述べてございますが耐震側の方に傘Eのですね耐震評価の方針を書いておりますので、
0:06:32	あわせてご説明をさせていただきたいと思います。
0:06:39	はい。規制庁館です。この後にぶら下がる説明書とあわせて多分説明いただかないと多分家にもつかないような気がするので今日そちらの方メインで確認いただいて多分自分もそのヒアリングに同席するような形で対応しようかなというふうに思っているところですので、
0:06:52	その部分に関しては戦況は具体に見込まずに次回耐震のヒアリングをタイミングに盛り込まれたタイミングで確認させていただこうと思います。順番になんですけど、まずは220ページのところからなんですけど、
0:07:05	一応改めての確認なんですけど、
0:07:08	前回ヒアリングを3-1-2として耐震設計の方針をうたうような形になっていてもともと3-1のところそのままぶら下がるような形で書いてたやつを枝番作って3-1タイトルの3-1の下に、
0:07:20	3-1-1と3-1-2がぶら下がるような形になってるところを理解したんですけど。
0:07:25	一応確認なんですけど、この構成は火災に限らず今後他の説明書溢水とかもですかね
0:07:32	基本的には事象の説明書のところで、基本方針、基本方針というのは自然体の説明書をうたった上で、さらに別途そこにな、次の番号として耐震設計の説明書が行ってその耐震設計のところは、
0:07:45	その上位の先ほどの事象の説明書のほか、耐震説明書からもぶら下がる形になってきて、そこから耐震性の具体の計算の説明書に飛ばすような構成というのは他の一緒にやってくってことでいいんですよ。
0:07:59	日本原燃清水です。はい。火災だけに限らず溢水薬品もなり、と同じような展開で、今後整理させていただきたいと思っております。

0:08:09	はい、規制庁タジリです。
0:08:11	で、
0:08:12	それ、その対象の時に改めて聞くと行って恐縮なんですけど一応確認なんですけど、この40かな、4-4の耐震性に関する説明書というのところでは受けるのはあくまで3-1-2から受ける形になっていて4-1とかから受ける直接受けるような記載にはしないようにしてるってことでいいんですよね。
0:08:36	規制庁谷井さんの人は4があって4から今3-1-2に矢印が伸びて3-1-2から4-4に矢印が伸びる形になっていて、何で
0:08:46	4-4、前段を受けようとする場合は3-1-2から受ける形になっていて、要は4から直接受ける必要はなくて、受けたいものは3-1-2にワンクッション全部カバーする形になってるのでそこから受ける形で構成してるってよかったですかね。
0:09:01	日本原燃の津田でございますはい。おっしゃっていただいたご理解で結構です。3-1の中で必要な耐震設計に関するところはこのいろんなわから受けて3-1円で整理した形で、
0:09:16	4-4-1の方に飛ばしております。
0:09:20	はい、規制庁館です。何で番号としては4とか3とか4
0:09:24	なるような、
0:09:27	一応あの時火災に関するものの上位というと火災説明書なので一応その辺、
0:09:31	カタノ耐震性
0:09:34	溢水とかですね、被水の上位があって、一応大変
0:09:38	それぞれ1回番組を挟んで、個別の説明書に飛ぶという形の構成ということで一応理解いたしました。構成については本規制庁側から何かあればお願いします。
0:09:50	ごめんなさい。今の話念のため確認なんですけど、この220ページ下に、
0:09:59	4の耐震性に関する説明書の4-1なり4-1-11-2と、
0:10:06	というのがあってそれで矢印が、
0:10:10	はい。3-1-2の方に入っているっていうのは、
0:10:14	これは3-1-2の中で、4-1-1なり1-2を呼び込む。
0:10:21	ていうことを示してるってことでよろしいですか。
0:10:26	はい。日本原燃の千田でございますはい。今おっしゃっていただいた通りに、結構でございます
0:10:37	衛藤。
0:10:39	言ってしまうとこの他、かつて耐震設計に関わるところで今まで述べてるところで必要な方針ってのはいろんな目で述べておりますのでそちらで火災の設計上必要なものと呼んでるものになります。

0:10:55	ですので 384 ページ以降からですね、火災防護の耐震設計の基本方針等々述べてますけども必要なところをですね、豊川の方からの呼び込みを行って、
0:11:10	はい、経産省側に流すというような形をとっております。
0:11:15	はい。補足です。なので、4-4-1については、3-1-2。
0:11:23	に紐づいていけばいいと、ということですね。
0:11:29	はい。日本原燃の千田でございますはい。おっしゃる通りでございます。それで4-4-1の中では何ていうんでしょう。火災の
0:11:42	検査計算の方の方針はこちらで書いてますので、計算に必要なところは当然耐震側から呼んでるんですけども、
0:11:53	牛田さん、そういう説明をされると混乱するので、
0:11:56	そ、それを是正するために今わざわざお聞きしたんですけど、
0:12:02	実態上ワー、
0:12:06	すいませんちょっと待ってくださいね。
0:12:09	実態上は4-1NO2 だったりのところの内容が入ってくるんですけど、紐づけとしてはあくまでそれは3-1-2 で呼び込んでいるのであって、
0:12:22	A4 の、
0:12:25	4-1 では、3-1-2 にぶら下がる図書として書いていてっていうことですよねとお聞きしたんですが紐づけとして、
0:12:36	直接、4-1-1 とかから来るのではなくて、
0:12:40	3-1-2 を経営するんですよ。
0:12:45	去年チダでございますはいおっしゃっていただいた通りですすみません評価の方の余計な話をしてしまいました。
0:12:57	はい、蘇武です。
0:12:59	認識は多分あったんだろうなと思いますので、それぞれに即して書いてるかどうかがこの後しっかりと見ていくってことだと理解しました。以上です。
0:13:10	はい、室長田尻です。実は続いて幾つか確認させていただければと思うんですが、84 ページ右下 84 ページのところで、
0:13:19	ちょうど今、整理してるようなお話をされたところであるんですけど第1章第2章の書き分けの話少し入ってしまうんですが、
0:13:26	江藤、先日ちょっと日付を忘れてしまったんですけどホエーと第3第2章の筧和気のヒアリングをやって、火災に関しては②と③のパターンがあって設計方針そのまま飛ばしてるようなやつと、ある程度ここで受けながらという花CO
0:13:41	気はしたんですけど、それを踏まえてここで何かしら書き換えを想定してるのか、それとも今のところでも7個3-3の頭こういったところに基づく設計とするって言った上で、そのあと、火災防護の結果のある程

	度の基本設計方針を伝えながら変えていってるとこの構成のままに結局なりそうなのかとかっていう、
0:13:58	修正の方針とか、いらないかどうかということも含めてですけど、何か方向性が今決まっていればご説明ください。
0:14:07	清水です。
0:14:09	今お話ありました 84 ページ以降の第 2 章個別項目のところ自体はですね、今の形で問題ないと思っていおるんですけども、第 1 章はですね、
0:14:23	大庄側からですね。
0:14:26	最初に特有火災に関わる記載のところからですね、
0:14:32	一部文、先日、ご説明させていただいた分類 3 に該当するものがあった、
0:14:39	第 1 章側から 2 章のどこどこに示すというふうに書き足すところがございますのでそこをちょっと精査して、次回資料提出時に反映したいと思っております。
0:14:51	はい規制庁館です。なんで右下で言うと 19 ページ以降のところの特養火災の話が書かれていて、ここで個別設備の説明として書かなきゃいけないものに関して多分的場記載があまり書かれてないので、
0:15:04	格好とされてるのは理解したんですけどそれでどれぐらいの単位で書こうとされてますか、個別個別で細かくそれを飛ばそうとしてるのか、この特有課題全体で飛ばそうとするのかどうかって結構数が変わってきそうな気もするんですけどそこらの方針がカタノ定まったら説明ください。
0:15:20	日本原燃清水です。はいそこ長はい我々もちょっと悩んでたところでして、全体として特有火災の最後のところですね、投げるような方向でちょっと資料の方作りたいて考えておりました。
0:15:35	規制庁田尻です。何で飛ばすか上は 1 ヶ所まとめて書けけれど飛ばす項目についてはそこで明記することによって何を飛ばしたかがわかるようにするとかそんなイメージですかね。
0:15:47	はい。日本原燃清水です。はい、そのようなイメージで資料の方を作成したいと思っております。
0:15:51	はい、規制庁タジリつあの後でも聞くんですけど、その部分って今度どういうスケジュールで進んでるんでしたっけ。
0:16:03	ちょっとやっぱり何か漁協、あれ今日かな、今日ぐらいに何か書き分けの資料がもう 1 回届くんじゃなかったっけ。
0:16:13	清水はい。おっしゃる通り、衛藤安芸和気の資料は本日、はい。前回いただいたコメントを踏まえたものを出すというのと、
0:16:24	河西郷につきましては、

0:16:27	共通個別の書き上げの話だでしたり、先ほどまだできてないと言ってたところを直した上で来週 I 段階でお出ししたいというふうに考えております。
0:16:37	はい。規制庁谷です。第 1 章第 2 章の書き分けの資料も、幾らかはありましたけどある程度収束してきてるような気がしていたので、個別個別にそれをどう適用するかで少し悩んでってところなのかもしれないんですけど早めに出していただいて
0:16:54	崩れもしないとは思ってるんですけど、たまに何かなぜここっていう時があるので、そういったことにならないように早めに出していただければと思うので、
0:17:04	出てきたら、そんな間をおかずヒアリングとかで確認してしまえばいいかなというふうに思っているのもその点も含めてご検討いただければと思います。
0:17:11	はい。日本原燃清水です。了解いたしました。
0:17:15	はい規制庁タジリです。もう 1 件が
0:17:19	途中で説明いただいた 61 ページのところなんですけど多分 (2) のところで、
0:17:25	タイトルから変えるんですかね、今要は中央制御室のというふうな形で書かれてるところなんですけど、ここ制御室のぐらい抱えてちょっと制御室前の部分で提供したかわかんないんですけど制御室って置いて、
0:17:36	F の制御室の本当の成立も読めるようにした上で、両方に係るもノーで、片方だけでやってるのがあったら中央制御室のとか主語を明確にした上で書いてるとかそんな説明だったですかね。
0:17:48	日本原燃の津田でございます不公正としては今いただいた通りですタイトルを制御室とするか、両方併記するかとかですね
0:18:00	ショーワのところの記載をよく読めるようにし、衛藤ちゃん、しっかり書き分けより可児昇側で遠い移るかというところがあるんですけどもはい。ここを両方読めるような形で両方の対策をするというのを宣言。
0:18:20	するような形で記載したいと思います。
0:18:23	はい。規制庁館です。方向性は理解しつつなんですけど、中央制御室というこの制御室で対策違う部分ってあるんですけど。
0:18:32	はい。元チダでございます中央制御室 I I と制御室ですねその制御室の中の盤はちゃんと鉄板で実際は便宜されてるんですけども見た目でも一つの場に見えるものになっていた中でバリアで分離されてますので、
0:18:52	そこは違う場の分離の考え方がちょっと違ってきます。
0:18:58	規制庁田尻です。それは設計方針としては、何か変わるんですけど今抱えている鉄板により別の区画を設ける、無もうけ分離するとともにとは違うんですけど。

0:19:10	えっとですねいえ、ここで中央制御室の盤はと書きつつですねこの一番最後の段落なんですけども、
0:19:21	または、すいません、登坂さん。わかりました。要は、対処方針としては両方書いてあるけど、主語がカタノウちが書いてなくて、ってことですねだから頭でくくって船津も読めるようにはしてたんだけど、四国は中央制御所だったんで、そういうところは両方読めるようにしてっていうことを言われたってことですかね。
0:19:42	現在でございますおっしゃる通りです。先生方に理解しました。この部分では、両方の要は制御室の制御盤はというふうにした上で後で書き下すなりそれとも田力分けるなりっていうのはやり方次第だと思ってるので、
0:19:56	この部分は何か難しい修正ちゅうわけでもないような気がするので、早めに出していただいて中の確認できればと思うんでよろしく願いいたします。
0:20:05	はい、原燃津田でございます承知しました。
0:20:09	はい。規制庁田尻です。等で火災に関しては、基本的に基本設計方針固まったら添付、ほぼ同じこと書いてある。ちょっと失礼な言い方になっちゃうけど、本当いっぱい出てるのでってところにはなってるので、
0:20:23	課題、いっぱいヒアリングをしてきてるところなので、一応細かいところもいっぱいあるかもしれないですけど、今言ったようなところ、
0:20:30	直していただければ、固まり始めるかなというふうに思ってるので早め早めに対応いただければと思うんでよろしく願いいたします。統一すみません規制庁から他に何かあればお願いいたします。
0:20:43	補足です。先ほどのその耐震の方またヒアリングをするということなんですけど、その結果を踏まえて、先ほど言われたような場所にフィードバックをかける。
0:20:57	こともあり得ると思うんですけどそこら辺でのスケジュールって何か考えてます。
0:21:08	はい。現存の面でございます。まず耐震あるところはですね書き分けの話がメインですので先ほどのお話の通りですね早め早めに出していきたいと思います。
0:21:24	こちらの耐震の方はですね耐震のそれこそ基本方針計算書の書き分けのところろう、
0:21:32	ライトフィードバックとなると思いますので、そちらとスケジュールをあわせてになるんですがすみませんちょっと私は十分に館側のスケジュールを今語れないので、
0:21:46	はい。衛藤。そちらのフィードバックくう。

0:21:50	それからそちらと今日合わせてという対応になりますすみませんあまり答えになってませんが。はい。
0:21:55	規制庁タジリすんまを注ぐに影響し合っちゃってよくわかんなくなってるのは理解したんですけど、どっちが律速になっても仕方ないんですけど。
0:22:06	やっぱ一つの条文として終わらせないとどうしようもないところがあるので、一緒だったんでこっちの方で調整もできるんですけど、今回すみません。耐震の後先生はついてなかったんで、
0:22:16	なんか別途やられてるのかなと勝手に推測してしまったところがあるので必要な調整だったら別に1度に集めて、それでおられると思っているので、早めに何か確認できるようなやり方があれば下の方でも考えていただいて提案いただければと思うんですけど、よろしいですかね。
0:22:34	はい、OK。
0:22:36	あ、すみません、古作です。
0:22:40	この段階に於いて非常に残念な回答で、他のところも含めて全体的にですね原燃は縦割り横割りがひど過ぎると。
0:22:50	会合でも審議官からも言われたと思うんですけど、
0:22:54	聞いてますかね。
0:22:58	はい。日本原燃の清水です廃棄でございます。すみません。薄井藤自身ものけ浅瀬計算書の方につきましては、
0:23:08	地震00です、本日、提出させていただいた上です、来週火曜日に、ちょっと次、あまり手塚時間が置いて日付置いてませんけども20日に、
0:23:22	ご説明させていただければというふうに考えてございます。
0:23:26	はい、細田です。私が申し上げたのは、スケジュールルを知りたいというよりは、そういうことを認識してそれぞれの担当者が連携をとり、相手のことを状況理解をし対応しているかと。
0:23:41	ということです。
0:23:43	残念ながら、そういうことが全く手当をされていなかったっていうことはよくわかりましたんで、会合で言ったことは何も真摯に伝わっていないと。
0:23:55	ということだと理解をしています。また会合で言われないようにしっかり対応してください。
0:24:02	はい。現実でございます。申し訳ございませんすぐに言ってる、3日にできていなかったわけではなくですね、まずご指摘は承知しましたと。
0:24:14	私の言い方がちょっとまずかったですけども、
0:24:19	すみません、スケジュールは把握はしておるんですが

0:24:24	配信の方ですね、書き分けの話があってそいつをこちらにも、どうしてもフィードバックするところがあるので、そこと連携を取るということで見たかったんですがすみませんちょっと伝え方がまずかったです。失礼しました。
0:24:40	ちょっと自分ちょっと理解が違ったかもしれんけどだから、火災の話っていうよりは、耐震の上段の欠けの整理が終わってなくてそれを踏まえた上で、火災の耐震の説明しても書き直そうと思ったんで、
0:24:53	そこ待った上でっていうタイミングになってるんで少し遅れてますよとかそういう説明をされたということですかね。
0:24:58	はい。現地でございますその通りでございますで、芦川についてもですねあれは耐震が作ってるものだというわけではなくてその中の4-4-1などは我々の方で作ってるものでございますのはい。一緒にやっておりますので、
0:25:14	すみませんそこら辺をうまく伝えられておりませんでした。
0:25:19	はい。規制庁館です。助教割り返しましたで、中の整理がつかないとやりづらいついていうところあるんですけど資料としてどこまでも出すかっていうところあるんですけど同時並行で進めていただかないと段階段階やりすぎる等
0:25:33	1個あって次終わって次終わってっていうと、その分時間が無駄にかかってしまうということもあるので、見切り発車がいいというふうには言わないですけど全体としてパッケージで持つといていただいた方が実例としてどう変えたっちゃうのはかりながら多分話進められるところもあると思うので、
0:25:47	作業を進めていただければと思うんでよろしく願いいたします。
0:25:52	はい、原燃木田でございます承知しました。大変失礼しました。
0:25:56	コサクです。ちょっと気になってたのは先ほどの最初の方での回答で、構造設計のところ一般品なのでとかっていうふうに言われたんですけど、
0:26:09	一般品だって耐震上の考慮は何も変わりようがないと思ってて、
0:26:14	何をその特殊に書く必要があると思ってんのかなとかっていうのがちょっとよくわかんなかったんです。
0:26:20	それについて、
0:26:22	今日の資料でもうこれから変えていきますっていうことで、よくわからなかったなので、その議論はまず、4-4-1の方側のヒアリングで、
0:26:36	話があり、それをまた展開、並行してそちらは作業してるんでしょうけど、こちらとしては、展開という形で見ていくことになるのかなと。
0:26:46	思っていたん。

0:26:48	ですんで、いずれにしろ見てからじゃないと、こちらは何とも言えないので、提示をいただいて考えを明示的にしてもらえればというふうに思ってます。以上です。
0:27:03	現実でございますすみません衛藤。
0:27:07	ちょっとご趣旨ご発言の趣旨は理解したんですけどもちょっと私が言い方が悪かったんですけど実際書き入れる方は、3-2-2、3-1-2、こちらの、
0:27:20	葛西側の設計方針の方になります。
0:27:23	葛西特有の設計になりますのでちょっとそこをですね
0:27:28	新宅です。すいません、余計わかんなくて、
0:27:32	これは上流の図書になり、それを受けて、その部分はそれを受けるのが耐震側になると。
0:27:40	ということで話をしてたのに書くのは、上流だけですって言われても、
0:27:45	何で下流に行かないんですかっていうのが甚だ疑問です。下流の方に行ったら、
0:27:52	耐震の方の上流を間接的に呼び込んだ状態で、展開をしていくということなんですけど、上流でプラスされたんだったら下もちゃんとそのプラスの、
0:28:03	ことを説明してもらわなきゃいけないということなんですけど、その辺りちゃんと対応できるんですか。今の説明の状態では、
0:28:12	全然それは進みません。すいません私は、すいませんこの河西の方の説明書に特化してしゃべってしまいました申し訳ございません。江藤。
0:28:23	ご趣旨の通りで当然4本の方でも受けることになります。
0:28:31	はい。工作です。そもそもの言ってる趣旨がわかりにくかったので、物を見ないと何とも言いようがないので早く提示をして、議論できるようにしてください。
0:28:44	はい。全然チダでございます。了解しました。
0:28:50	はい。成長度です。耐震の話は別でもちゃんと整理をしてっていうところを踏まえながらやってるという理解はしているんですけど乗り遅れないようにだけっていう、今ここで回答とかです何かちょっとどンドンややこしくなっているんですけどよろしくお願ひしますということと、
0:29:05	そう、振り返ってもいいんですけど大体それぞれのところでスケジュールを聞いてしまったところですけど、何か振り返りかスケジュール感で原燃から追加で何かあればお願ひします。
0:29:18	先ほど現地でございます先ほど申し上げた通りでございますがかき分けのみ等Cをつけて早期にこちらの00の方は第1部に提出させていただきたいと思ひますで、

0:29:33	パーツで先ほどの材料の話ですね築山耐震の方にも、と合わせてご説明をさせていただきます。
0:29:44	はい、規制庁田井ですよろしくお願いいたします。ほかになければ次の項目をお願いいたします。
0:29:56	はい。日本原燃の蝦名です。竜巻の方に入らせていただきます。竜巻なんですけども、まず最初にちなみになんですけど、竜巻を補足説明項目に挙がってるんですけど
0:30:09	カラフル係数の話とかで動かせましたっちゅうだけの話だと思うので、今日今まで説明したことから、特記して変更したようなところを中心に説明いただければと思いますルーバー増えたんでしょに合わして書きましたってところは一応資料はもう見てしまっているんで、
0:30:24	多分、16とかですかね、16とかそういったところに関しては今回改めてしっかり聞かなきゃいけないところとかもあると思うんでそういったところを中心に説明いただければよろしくお願ひします。
0:30:34	はい。日本原燃の海老名です今、ちょっとそれ言おうとしてたところでほとんどが適正化図ったものとあとは、おっしゃった通り、05と08はルーバーの記載、追加したもので説明は割愛させていただきます。
0:30:46	で、今回は、11月2日のヒアリングでいただいた指摘事項の反映ということで戸塚真木16について少し進めさせていただきます。
0:30:59	はい日本原燃のサカモリでございます。ではですね前回のヒアリングの時にちょっといただいた、大分の取付ボルトに関する評価の妥当性についてちょっとご説明させていただきたいと思ひます資料は、11月、
0:31:14	15日に提出させていただいた外間鶴巻16をメインに所々粗度竜巻00-01を使ってご説明させていただきたいと思ひます。
0:31:24	まず竜巻16の方を使ってご説明させていただきたいと思ひますまず評価にあたってでございますけれども、何、74ページの方にですね、
0:31:35	今回、取付ボルトの設計思想というのを記載させていただきました。ここに記載がありますように取り付けボルトは破断を想定する部材でございますのでその破断を踏まえた残存ボルトが何本残るのかというのを評価する必要がございます。
0:31:51	そのためハラダ半径が評価可能なLS-DYNAを用いて解析の方を実施してございます。これはLS-DYNAでございますが外竜巻00-01の563ページにちょっと記載の方させていただきましたが、
0:32:06	航空機が胴体着陸した際ですね航空機フレームの変形や接続部のリベットの破断評価にも、こちられた実績がございますのでボルトの破断評価をLS-DYNAを用いて、
0:32:19	することが可能とか考えてございます。次にですねそのボルトの原評価における評価の妥当性を二つの観点で確認して参りました。まず一つ目

	でございます。こちらすみません口頭説明になって申し訳ありませんが、
0:32:34	解析においてですね不確かさの考慮等の今は考慮する必要があるのかといった設定の妥当性についてでございます。この解析におきましてボルトはばね要素でモデル化の方をさせていただきます。
0:32:47	こちらの方解析コードにはですね、ボルトの径や材料物性値等を J I S 規格等の規格値を用いて入力するだけであり、こちらについてその不確かさといった要素はないと考えてございます。
0:33:00	次に防護板についてでございますが、こちらは外竜巻 31 ですねこちらにお示ししているように、実証試験と解析の比較を行い、保守的な評価が出るように設定していることを確認してございますので、
0:33:12	データの解析についても妥当なものだと判断してございます。その結果からですねボルトの破断評価における解析の設定については妥当だというふうに考えてございますただしませぬ。
0:33:25	先ほどご説明させていただいたように
0:33:27	次の妥当性検証の説明がですね今サトウ竜巻 16 にちょっと書いていないので今後ちょっと記載をしたいと考えております。次に、協議会でございます。
0:33:37	今残存分と 2 本以上というのを許容限界として設定口座してございますが、残存ボルトはですね 1 本あればその防護板に作用する荷重を考慮しても、新設するだけの強度を有した設定としてございます。
0:33:51	ただ 1 本しか残らないとですねそのボルト軸としてボールが会见するといったようなことが考えられるので、
0:33:57	保存ボルトは 2 本以上のコストということを許容限界として設定しており、十分な余裕を確保しているというふうに判断してございます。以上から、取付ボルトの破断評価は妥当だと。
0:34:09	こういう考えでございます。
0:34:11	次のすみません、ちょっと補足説明資料とですねこの前修正させていただいた施設一緒の内容ちょっと見比べてみるとですね何ていうかちょっと追記が必要かなという考え。
0:34:23	予定がでございますので、
0:34:25	そちらの方ご説明させていただきたいと思えます。
0:34:28	あと取付ボルトの設計についてでございます。竜巻、74 ページの内容をですね、外竜巻 00-01 の
0:34:38	275 ページ。
0:34:43	こちらの方に、今後ちょっと盛り込んでいきたいなというふうに考えてございます。実はそう払うするといったそういった考え方が全然書いて

	ないのでそういうのをちょっと追記する必要があるかなと考えてございます。
0:34:55	次の二つ目に、許容限界の考え方についてでございます。熊木の76ページにはその考え方を記載されているんですけども、
0:35:05	0の方はですね今478ページに、
0:35:10	許容限界を記載しているんですけども結論しかなくてですね日本という考え方が全然載ってないのでそちらの方を追記したいと考えてございます。
0:35:20	最後に、取付ボルトの仕様でございます。521ページ。
0:35:29	ボルトの仕様を書いているんですけどもサイズとって基本的な情報が入っていないなというふうに考えてございますのでそういったものをちょっと踏み込んでいく必要があるかなと今考えてございます。
0:35:41	取付ボルトに関する説明は以上となります。
0:35:46	はい。規制庁田尻です。申請承認動向の前にまずは中身について確認していきたいんですけど、まず74ページからなんですけどLS-DYNAについては一応ボールドのような評価してるやつもありますよっていうところまで理解したんですけど。
0:36:02	いや、今回どういうふうにモデル化をしていて、
0:36:07	先ほど後ろの方も両方一番最後の質問が一番最後の方の説明で必要なパラメータについての情報を入れようっていうふうの下階言われたんですけど、どういったものまで解析に聞かせてるのかとかいまいちわからなかったんですけど、どう評価してるかどうか井関君なんですっていうところの説明がどっかにあるんですけど。
0:36:26	日本のタナカでございます。今回こちらの解析に当たりましては、防護盤本体と、
0:36:33	ボルト後それを取り付けている中学校までちょっとモデル化をして、モデルに組み込んでございます。防護盤自体とボルトの要素の話については確かに書いているんですけども、
0:36:45	学校のその部分についてっていうモデルが入ってるかっていう情報までは明示はしていないものですね、長と津野。
0:36:56	図の方が、ちょっと探すんでちょっと少々お待ちください。
0:37:04	お待たせいたしました。
0:37:06	竜巻00の496ページから、490、
0:37:12	ページまでの間にですね衝突の
0:37:15	衝突の後モデルの図を出しておりますモデル化しているものは床、こちらのものがモデル化しているというところを示さしてございました。以上です。

0:37:26	成長と自立もう1回1から順に追ってなんですけど補足資料の16から16の方に74ページとかのところで書かれているように、要は今回方向バルク使って僕案が中心物か中心部構えでぶつかった部分に変形することによって、その変形部分の影響で、
0:37:46	取付ボルト部分にひずみかなんかが生じて、その影響で変形破断することを評価しなければいけないんですっていうふうに言っていて、もともとのこれ、書かれてるやつを見ると、設計自体が、要は
0:37:58	完璧にこうにここで止めるというよりはそのとりボルト部分に運動エネルギー逃げて行ってそこで破断することを想定しながら設計して行って、今ここで書かれてるやつを見ると、
0:38:11	どこだっけな、モーメントの話か何か変えて要は一定範囲についてはそういうそういうことを想定してるんですって形で書かれてるんですけど、これって教科書をボルトの本数が聞いてるというよりはやっぱり距離で強化をしてると思っていいですかね。距離、距離が評価をしてみたら、距離が効いてるという考え方なんですかね。
0:38:28	日本原燃田仲でございます。基本的には衝突位置とボルトの絵と、位置関係がボルトの破断に破断の判定に衛藤を大きく影響しているものと考えてございます。
0:38:40	規制庁タジリです。今回評価結果だけを見ると50分や何本寄りついていて最後生き残るのが10本あるみたいな評価結果だけが出てくるんですけど、あそこの本数自体っていうのが、そこまでの意味を持つてるという説明をしたんじゃないかと、
0:38:55	言われてるのは結局のところ、日本が一本化ですけど生き残れば一応、
0:39:01	中のものに影響を与えない設計だということを説明できる構造になっていて、今回説明としては、要は極端なアイボルトが50%の変形量が変わってしまうんでそのまま直接には言えないんですけど、
0:39:12	V50本ある岡本から十分であろうが、一定距離残ってるやつに関し、行っていける離れてるやつに関しては生き残るけど中心部に使うところのやつに関しては、それは、飛来物がぶつかったところの変形の影響をそのまま受けちゃうので結局破断するんですって説明をしていると思えばいいですかね。
0:39:30	日本原燃田仲でございます。田尻さんのご理解の趣旨と、と一緒にございます。設計の
0:39:37	通しの74ページの(2)のbポツのところに、の2段落目に記載しております通り、ボルトの破断する恐れがもうありますと。
0:39:48	どこに衝突しても取付ボルトは必ず残るようにボルトの配置を均等に配置をするという設計としてございますのでそういった考慮をしているものとなっております。以上です。

0:40:01	茶谷です。なんで、ボルトすべて破断しないような設計なんていうのはなから組んでいなくて、ボルトを分散させたいすることによって、真ん中に、真ん中というのが一番厳しいところに飛来物がぶつかった時においても幾らか生き残るように設計するんだってのがまず設計思想としてありますっていうふうな多分説明をされていて、
0:40:19	今の説明だと、いや、V-1等考えて設置されるという話があったんでそこが効いてくるのかもしれないんですけど、位置関係が結局担保すべき事項の一つに上がっちゃうような気がするんですけどそのあたりで結局どう書こうとしてるんですか。
0:40:42	少々お待ちください。
0:40:44	規制庁館です一応趣旨としては前回までのところでV2本生き残ればいいんですっていうふうに本数のところメインで書かれてたので、本数変えてよって言って、何か生き残る本数だけ書かれたから、いや何本から減ったかわかんないからって何本もともとありますよとまで書いてってところまできたんですけど、
0:41:01	まだお話し妥当な本中何個生き残るってよりは何本結局生き残るっていうところと2本あればいいんですってところまでいいんですけど、結局のところ等間隔でやられていて一定距離離れてるようなやつが生き残るような設計なんですっていう形なので、
0:41:14	その等間隔かどうしたんって考えたわかんないですけどその部分と込みでやって、だからこれぐらい離れてたやつが幾らかこのスパンで売ってるのが生き残るような形になってるんですっていう説明になるんだと思ったんですけど。
0:41:25	その距離の話ってどこまで舞台伸びてましたっけ。
0:41:28	例えば配管越えてピッチだっというんだったらピッチの説明を当然したりすると思うんですけどあんまり何かと、等間隔かピッチか何か、そういう記載はどっかにあったと思うんですけど具体を見た覚えがなくて、
0:41:39	という意味です。古作です。ちょっと追加で申し上げると、私日本っていうのにちょっと疑問を持っていて、
0:41:46	脱落しないようにっていうことで方針書かれてる部分あるんですけど、
0:41:53	座面食うしなければ、
0:41:57	日本でた日本だと、線での固定でしかないので、回転はす。
0:42:06	すると思うんですね、回転というのが、曲げが発生はするんですけど、
0:42:11	ドアノのように開くことは可能と。
0:42:15	ということ
0:42:17	そこは離隔なり担保取れてるんでいいんですっていうことでしょうか。
0:42:31	ていうのもその脱落で異脱落だけじゃなくて、先ほど1点支持だと回転することがあるんですけど。

0:42:38	言われたことを気にするんであれば2. だって一緒じゃないかっていうことです。
0:42:48	日本へのタナカでございます。脱落に対する、日本っていうのは事象の収束後という絵と意味をしております、解析ではもちろん衛藤、
0:42:59	警告等ボルトが破断していったが、飛来物によって板がどのように変形していくと、変形していくかっていうところまで
0:43:07	見ております、だからこそ、今衛藤。
0:43:11	指摘に上がりました板がめくれて飛来物がその中に入っていくというような現象をきちっと現象についてお話が多分違って防護板が今存在していて、今だったら全然固められてるからそれ動かないんだけど、
0:43:26	1点だけが起こった場合は改善していた自体が改善して何か影響を及ぼすことを考慮するんだとしたら、2ヶ所止まってても1点とかで2ヶ所止まったらそのまま回転するから、僕が言ったぶつかることねえのっていう意味の方なのでちょっとそういった趣旨を踏まえた説明あったかもしれないですけど、何か違いそうな気がしたんで一応コメントです。
0:43:45	日本原燃のサカモリでございます。今コサクさんがおっしゃったのはまさしく扉のように置く方向に改善するっていうことをご指摘されたんだと思っております。そういった方向にはですねこのボルト止めるためには当然裏にブラピがいますんでその裏手が結構強固というか、1項とかそういったものを使っておりますのでそれなりに見なさい。
0:44:06	実態の話をされても困って、設計方針としてどう担保するかっていう話のときに、2.7Gでオーケーだということを前提に話をされそうだったので、
0:44:18	その上流でちょっと困ることがありませんかっていうことでお話をしたんです。今のことを言われるんだったら、
0:44:27	ボルト支持のときにそういう回転方向は拘束するように、しっかりと作りますって宣言をしなきゃいけないんですけど、
0:44:34	そんなことをする必要がありますかっていうこともあって、単純に言う
0:44:40	と3点以上、
0:44:40	なり、十分離隔をとって、ボルト設置しますと、その十分というのが、先ほど言った距離の話に、解析を踏まえた距離の話になると思うんですけど、
0:44:52	いう。
0:44:53	ことなのかなあと考えてたんですけど何か、
0:44:57	いろんな変な方向に飛んでいきそうだったので、横やりで話を入れました。
0:45:15	古作です。さらに言うそうですね、
0:45:19	均等にボール等を設置しますということで2本ないし3本なり

0:45:28	保持できるので大丈夫ですという古藤。
0:45:33	だと思んですけど、それも防護板が大きいから、距離として離れるんであって、
0:45:41	何らかその前提条件を、
0:45:44	何か、
0:45:45	入れちゃ、暗黙に入れちゃってないかなという気がするんですよ。そういうことも含めてちょっと整理をしてお話いただければと思います。
0:46:01	少々お待ちください。
0:46:03	成長と次です。ちなみに、何かメーカーの人がおられる手配をしたんで別にメーカーの人がしゃべっちゃ駄目とは言っていないので、お任せします。はい。
0:46:32	日本原燃の坂部でございますすみませんちょっと、もし答えずれたら申し訳ないんですけどもまずコサクさんがおっしゃった均等配置の件でございます。サイズがちっちゃいものはそのピッチを割り込んでやって適正なボルトは、
0:46:45	ないんじゃないかというご指摘だと思ってるんですけども、そういった点はまず設計の断面ですわちょっとこれ記載しなくて非常に申し訳ないんですけども、ならないように防護板のサイズを設計するというのがそもそも思想としてございますので、
0:46:59	そういったことはまず起こらないというふうに考えております。以上です。すいません、今書いてないんで申し訳ないんですけどって言ったことに尽きるんですけど。
0:47:08	事実関係を私は聞いてるんじゃなくて設計方針をどうすれば、全体が、
0:47:14	宣言できる形になるんですかと聞いていて、その書いてないのは申し訳ないというのをどう書くんですかと聞いてます。
0:47:28	日本原燃のサカモリでございます。沿いのサイズやってる設計とかの思想ですわまず鹿野層と竜巻16で言いますと、74ページの
0:47:40	ポツの方の防護板の設計でファンとして下記載しかないんですけども、そういった板の設計に対する要求事項ですわそういったものを明確に記載する必要があると今、
0:47:50	言われております。以上です。ちょっと合格っていう答えが出せなくて申し訳ないんですけども。以上です。規制庁館ですこの先ほど今野飯田の話に限らないんですけどさっきのボルトの径とか何か鍋田の話も言われたんですけど、
0:48:03	要は今回評価をして、こいつは考慮する設計条件を満たせるんですけど貫通支援もしないっていうところのために、解析してってのはわかるんですけど、解析のための前提条件であるとか、先ほど長さんから言ったら

0:48:17	前提にはじゃないけど暗黙にもこういう設計だよねっていうふうに置いてるやつが、申請書ちゃんと担保されてるかどうかちゅう話だと思っていて、書かれてないことは実態どうなってるかって知ったことじゃなくて、約束してないですよ。
0:48:30	約束してないから、後、先ほどおっしゃられた裏側にいたいるんですあれ1個いるんですって話も、別にこっち側の表がねじ込みタテウチ約束されてないからどっちかってわからなくて、
0:48:40	何で約束するのを約束していただいて、だからこそそれを踏まえてこういう設計なんですって言ってもらって初めて0になるはずで、実態はこうなんですって後出しで出されても、
0:48:51	約束しとらんなんて話だし、書いてないから嚴重にやりましたって言われてもうち何も言えなくなっちゃうので、約束しなければいけないことが何かっていうのをちゃんと説明していただきたくてで、そのためにはさっき言った解析の話ん時に何の条件使ってんのっていうのが多分前提になるから、そこに入力条件入れるってことは、
0:49:08	その入力条件を約束した事項のはずなんでうちとうちが申請書に書いた事項のはずで、そういったところをちゃんと漏れなく書いてますかっていうのがまず、他も共通的にあるんですけど大丈夫ですかね。
0:49:21	日本原燃の坂元でございます私の言葉足らずでご意見だけ言及するような形で申し訳ございませんでしたあのさ、冒頭にあったような2点支持の考え方ですねちょっとそういったものの考え方、
0:49:33	今鍛冶さんがおっしゃったように、当然配慮してございますので、そういったは、設計上の配慮事項も盛り込んでこういう評価をしているというのがちゃんとわかるように、記載がするという記載する必要があるというのは、ごく当然のことを今、再度認識いたしましたので、
0:49:48	ちょっと自動資料見直したいと思います。日本原燃蝦名です。ちょっと念のために確認というか認識を合わせさせていただきたいんですが、まず現状は、何ですかね変形しエネルギー吸収するんだってばくっとしたことしか書かれていなくて、
0:50:05	結果、解析でそれを確認しましたぐらいの結果しか書いてないと、それに対して、昇変形して吸収するんだ、そういうふうな他の影響を与えないために、
0:50:17	設計上でこういう配慮をしておりますと、これはちょっと例になってるかわかんないですけども例えば、すごく超高度なルートで、
0:50:28	分を抑えるんだとかそういうのも、普通のそういう考え方かと思うんですけども、そういったものを記載するというふうなことでよろしかったでしょうか。調達ちょっと通じてるか通じないかわかんないんですけどまた順を追ってなんですけど。

0:50:44	まず申請書とかマシンさんで使ってる書類としては申請書の本文がいて、添付がいて補足説明資料がありますと、本文に関して基本設計方針だったらどういうふうな設計にしますよっての大きな方針として書かれていて仕様表だったらパラメーターが書かれてという形になっていて、
0:51:01	テープになるとさっき言ったやつの説明書類になるので、その部分について言ったけどそれを具体的にやろうとするとこういう設計なんですよというのが書かれる形になって、今、先ほどご説明あった補足資料のところさらにその細かなエビデンスがあってっていうところだと思うんですけど、
0:51:16	その結果等の説明が特に足りないっちゃう話をしていて、本文でこういうのを達成したいんですけどやつで読めるっちゃ読めるのかもしれないんですけど、添付でそれを書き下して説明なく解析結果でぼんと載つけられると。
0:51:28	この解析結果って何でこれ、いきなりこの解析に飛んでいくんだっけってというのが説明できなくなっちゃうから、解析の前提となる話であるとか、さらに暗黙の前提なのか知らないですけど、基本的な設計として、考慮してる事項ってというのが、
0:51:42	ちゃんと書かれてますよねと。さっきは構造の話だって別にネットの構造の説明してるんだから、ネットに関してはこれこれこういう設計にしますと、別にボルトでとめて占部市こういう時設計にしますってどっかに一文書いてあればそういう設計値って思えるはずなんですけど。
0:51:57	書いてますって要は勝手に前提にしてる話って、読めますかっていう話をしているだけで、さっきのボルトそういうガチガチになって話も別にそれが条件だったら書きゃいいんですけど。
0:52:08	別にそんな何かふわっとした言葉じゃなくても書こうと思ったら幾らでも書けるような気がするのですが、認識ありました。
0:52:17	はい。日本原燃の蝦名です。すいませんちょっと添付っていうところで、ワードが出て、勘違いしてることに気づきました。はい、理解できたと思います。
0:52:27	以上です。
0:52:29	ちょっとでした。大丈夫ですか。県分っていうのが出て、何か大丈夫だったっちゃうのが大丈夫かちょっとちょっと不安ではあるんですけど。
0:52:38	なぜだと大丈夫だろう。とりあえず、現年前からなんですけど、補足で説明したら、何かOKっぽい雰囲気が出てくることがあるんですけど。
0:52:48	補足は補足なんですよ。申請書じゃないので、申請書の添付に全部書いたらいいのかって言ったら、添付も本文に大きな方針書いてあって、その説明としてぶら下がってるからOKという形なので、

0:53:00	何でもいいですけど上流から本文添付でそれのおまけの補足っていう構成を崩さないでいただきたくて、今回のこのソフト竜巻16ですから16のところに文言盛り込みましたってやつも、
0:53:11	最初は別に補足で持ってきてもいいんですけど、結局添付に何をどれを盛り込むのっていう話Cが結局必要になってくるので、そこを理解していただいた上で、今補足に書かれてるやつもきっと情報足りないので、
0:53:23	さっき言ったように、何を前提にしていますか、っていうところを読めますかっていうのを、一応他のやつを見てきてるんで、突っ込めるとか突っ込んできてるつもりなんですけど、他も実は原燃の暗黙の了解で前に何か実はこういう条件があるんですけどねみたいなのか。
0:53:37	読めないんだったらちゃんと書いてくださいねっていうのは一応コメントです。はい。
0:53:43	日本原燃のサカモリでございますご趣旨を理解したつもりでございますきちんと上流文書との繋がりを意識する必要があるという点かと思っております今そもそも補足自体に書き足りてないというところがあるんですけども、
0:53:56	ここに書いた内容でしてそれがきちんと添付にエッセンスがあって、さらに添付に上がっているものがきちんと本文にその設計思想が書いてあると。つまりが追いかけるような構造体に修正することということで、
0:54:10	理解いたしましたのでちょっとその点確認して再度修正したいと考えております。以上です。
0:54:18	古作です。その前提になるのが、
0:54:24	最初に田尻が確認したところだと思うんですけど、Vノ一塑性変形での吸収は大きくは純してなくて、
0:54:36	単純に距離、
0:54:39	だけで
0:54:41	見てばいいような評価結果なんだという、
0:54:45	古藤。
0:54:47	これまで話を進めてたような気がするんですけど、
0:54:51	防護盤の塑性変形の状況っていうのも、その拘束条件によってか悪うと思うんですが、
0:55:01	そういうことを踏まえてもう、変形としてはボルトがそんなに、どういうふうにはボルトを示してあろうが、
0:55:13	5番の変形の状況っていうのは、大きくは変わらないっていうことでいいのでしょうか。
0:55:22	日本原燃のサカモリでございます。今、日下さんがおっしゃった通り高速状態によってボルトへの影響は変わるものと判断してございます。ガチガチに固定してしまうような構造台だと

0:55:35	いったら変形しないので、Vにはおそらくかえってやさしい評価になって戸井田が貫通しやすいというような状況になると思います。今はボルトが変形。すいません。
0:55:48	この解析においては板の変形がそういった意味できつくなるような税、センチ拘束条件で評価をしているということになります以上です。規制庁、佐治です。多分ちょっと債権説明が多分足りなくて多分じゃちょっと自分の突っ込み方がよくなかったところもあるんですけど。
0:56:04	最終的に話して話さないで生き残るやつのボルトの数っていう意味でいうと、本当何本つけても関係ないんだけどちゅう話で僕が言っちゃってちょっとこんなもんやってる気がするんで一応なんすけど、
0:56:15	あれの前提としては、飛来物がぶつかったところが一定程度変形するっていうところが今回の解析の条件ぐらゐの変形じゃなければいけないはずでその解析の前提となるのは、互助会は50なんだから57本ついていることを前提にこれぐらゐの変形量で、
0:56:29	確かにボルトの付け方どっかの締め方露骨なんですけどまあ普通通りにつけていって、50分つけていたらこれぐらゐの変形ですよって話なんで、例えばここ10本にすると変形量が倍になるんでしたらそれぞれのボルトだってもっと、ひずみ表示だって結構破綻するって話なんで、
0:56:43	結局のところ藍本付けてるっていうのをずっと前提条件になってますっていうことを自分は理解してたんですけど、ただその上で、要は今50本のやつをこっから100本に変えても、そろそろ影響がないから、
0:56:56	そっから先のことに関しては、距離の話なんですよっていうのは、二段階の話があると思ってたんですけどそうでもないですかね。
0:57:13	清田です。並んでまず、中心部の変形量、飛来物が衝突したところの変形予定だとボルトの数は聞いてきますと、聞いた上で、そっから何を判断するっていうところだと受けたエネルギーの止め方置いといて、受けたエネルギーを、
0:57:29	結局吸収するという意味でいうと、結局距離の面との話になってくるので、距離は一定程度離れてないと、V100本にしようが何ぼにしようか、結局そんな影響受けないので、そこで重要になってくるのは距離のパラメーターですっていう話かなと思って、だったら距離の話ちゃんと説明しなきゃいけないんじゃないのっていう、
0:57:45	つもりで聞いてました。はい。
0:57:56	規制庁谷井です。こちら聞こえてます。はい。
0:57:59	それで、日本メーター聞こえてございます。図、だから要するに残存するボルトが何で残存することができたのっていうところについては、ゴール、衝突位置と、ボルトの位置関係っていうところが、
0:58:15	大きいものというふうに考えているというところでございます。

0:58:20	はい。規制庁館です。なんで、等間隔っていうのは、中心部の変形の話にも影響するし、さっき言った一定距離離れてるという方。
0:58:30	4本影響するって話だとすると、じゃあ、約束事項として書かなきゃいけない距離とかの話で何まで書きますとかの話に今度なってきた、だってさっき僕が行くやつだと極端な、要するに浮いてけばいいんですけどだけになっちゃうから。
0:58:43	でもそういうことではない米田部長さんが突っ込まれていて、それは多分こういうふうにはっきり周り全体的にボルト等間隔で詰めてそれに、多分、短い時間をつけていって、ただ、これぐらいの変形で押さえてるっていうふうには解析をするっていう前提になってるはずなので、
0:58:57	その部分も含めて、約束事項というのは抽出してんですよっていう質問です。
0:59:03	すいません日本原燃田仲でございます。すいません説明が足りてなかったです。解析の前提条件として周りを押さえているっていうところの高速から始めている。
0:59:13	税金となつてございます。そこに対してどんなふうにつけているのかっていう情報についてはそうですね点、
0:59:22	お約束事項として記載する必要があると、認識いたしましたのでそこについては記載の方をちょっと検討して赤瀬いただきます。以上です。
0:59:32	はい、規制庁というなぜその高速の話やってって、周囲を囲うようにそれつけてったら、あの板の話ってのは別表どれぐらいの大きさという板の話なんかもこれと取付位置なのみたいな話になってると思うんですけど板の大きさかかれています、
0:59:45	そしたらどれぐらいの距離離れるっていうのがそこである程度もう見える形になってるので、解析だとこれぐらいの距離以上離れたところってのは生き残るという結果が出ているので、生き残るのねっていうのも何か推察できるようになっている約束事項として担保された形になっているみたいな流れかなと思ったんですけどそんなイメージですかね。
1:00:17	少々お待ちください。
1:00:23	日本原燃田仲でございます。設計の思想という考え方では丹治さんのおっしゃった通り、
1:00:31	大江友野となっております。
1:00:33	それは本当にどうなのかないのかっていうのですか。
1:00:39	解析をまわして、その、それと同じ結果が出ていたっていうのを今確認しているというような状況でございます。
1:00:47	以上です。

1:00:48	はい規制庁と鶏と卵はどっちが先かまあいいんですけどそういう話だと思うので、この約束事項のって話にもなってくると思うんで、やってきましょうねって話と、
1:00:59	あと今、冒頭の数の話もしてきたんですけど、途中で1、自分が言っちゃ変Vてとかってあんま聞かないんですかねこれ。
1:01:11	両面タナカでございます。ポール系については各ボルトの耐力に聞くものですので、そこについては記載を追記させていただきます。
1:01:20	規制庁たですね、何でボルトの形もあって、どういう感覚でっていうのも書かれていて、板野大木さんから等間隔でっていうのをやればボルトのどれぐらい離れてるってのわかってっていう形で、これが抽出してっではいるんですけど、
1:01:35	こそ、そういった形で結局評価に何が必要っていうのを、
1:01:39	解析条件全部もらってるわけでも何でもないんで、原燃として抽出しっかりした上で説明をいただきたいと思っているんですけど、そこは大丈夫そうですかね。
1:01:50	宮永でございます解析に何を使ってどういうパラメーターを入れているのかっていうところ、それがどういうところに寄与しているのかっていう情報を見えるように、
1:02:01	修正を検討し、いたします。以上です。
1:02:05	はい。規制庁藤ですよろしく申し上げます。
1:02:07	で、その間もう1点お聞きしておきたいんですけど、補足だ属の中から補足の16だと75ページとかでこれも申請書の添付にも書かれてると思うんですけど、
1:02:17	代表ケースの三つの板の話書かれてると思うんですけど、今言ったようなパラメーター他にも出てきた場合に、代表ケースとしてこいつだけにおさまるものなのか定款等間隔でっていう話でやられてるので、板がでかくなったりちっちゃくなったらそれに付随してっていう形であればまああんまり影響もない気がするんですけど。
1:02:34	何かどっかに書いてあった気もするんですけど、代表選手への影響っていうのがどういったものかっていうのをもう1回説明してもらっていいですか何かどっか入ってましたよねなんか見たケースですけど資料が多過ぎて、
1:02:46	日本原燃田仲でございます。通しの74から75ページにかけて、評価対象の選定というところで記載をしてございます。
1:02:56	ものの選び方といたしましては防護盤っていうものがいっぺんで固定しているものと2年以上で固定しているものっていう2種類があるので、それぞれの固定方法ごとにですね詩篇の長さ、

1:03:08	紙幣の長さモーメントアームを考慮して選んでおきますと、Vは一定間隔で取り付けているってところもありまして、
1:03:18	あるすいませんちょっと説明が間違えましたと。
1:03:24	仕入れの長さ麻婆メーターも考慮してやってありますで、選び方としては支持編が短くて細長いエコマネーた分が中細長いようなイメージのボルト、
1:03:36	と選ぶことに曲がりやすいものを選ぶということなのでそういうものを選びます。そういうこと。それを選ぶことによってとしい編の長さが短いものと、
1:03:45	なりまして、周辺の長いボートについては一定間隔でついているので、土地柄の短いものを選ぶことによってボルトについても少ない本数のものも、選定されると、というような考え方となってございます。以上です。
1:04:00	先生、田尻です。ここで言ってもメーター分ってというのは変の長さのことを単に言ってるのかそれとも捨てるの。
1:04:07	なんていうか補強してるようなところのことも込みで言ってるかということ、燃えタイムって何を指すでしたっけこの場合、
1:04:16	日本原燃田仲でございます。衝突位置から、ボルトの距離の方を指してございます。何でどうくっつけられてるかって言うよりは単に距離だけの花強いなんか揉めたっていうので距離のこと言ってるってことでわかりました。
1:04:32	でいたんだから結局いっぺん知事方向で一遍指示か複数支持のやつところで、それぞれ代表選手やっていて、そこんところに関して等間隔にどうせつけるんだからっていうので、でかいやつが結局影響、
1:04:46	こっちで開放が距離を離れる形になるんですけど、ちっちゃかった場合も影響でかくなったりはしないもんなんですか。
1:04:53	変形量がそのままちっちゃくなるから結局変わらないんですかね。
1:05:04	井上根井タナカでございます。板自体は小さいと板野伊丹変形量というもの小さくなりますと、そのために当間板野変形が少ないと。
1:05:16	ボルトにかかる負荷というものも下がるというようなものとなってございます。以上です。コサクですその説明が根本的によくわからなくて、
1:05:25	板が小さければ、変形、変形角が大きくなる可能性も、
1:05:32	あるんじゃないですか。
1:05:36	エネルギーは同じなわけで、それをどれだけのもので、
1:05:41	カバーするかといったら小さい方が変形していくような気がするんですけど。
1:05:54	三菱重工の田上でございます。衛藤。
1:05:58	今ですおっしゃった通り

1:06:01	防護板が小さいことによって吸収エネルギーが同じである場合、僕らが、
1:06:07	P l a nスルー、吸収エネルギーの比率が大きくなるという話のご指摘の通りなんですけども、曲やさという観点でいきますとこの長さの産業で効いてきますので、長さの方がパラメータとして効いてくるというふうに考えてございます。
1:06:20	古作です。曲やすさって言われればそうかもしれないんですけど、それがパラメータになるっていうことがまたよくわからなくて、
1:06:34	今ですねこの三菱大滝でございます。今、ボルトの評価する時に今、ボルトバネでモデル化してございます。ですので、防護盤の今、ボルトで固定してる点の、
1:06:46	変形変位がですね、どれだけかというところに比例してボルトに荷重がどれだけ作用するかというところを評価してございますので、5番が変形すれば、ボルトに関する荷重が大きいというふうに判断して、
1:06:58	今考えてございます。
1:07:03	規制庁田尻ですねと、防衛たの大きさが、ちっちゃくなった時は結局想定としては僕達ちっやい方が変形量がちっやくなるっていうところが前提と思えばいいんですかね要は、
1:07:15	飛来物が持ってREDY自体は変わらない形になってるので、貫通っていう意味でいうとあんま変わらん形になるんですけど変形量っていう意味でいうと変の長さがちっやい方が変形しないから、変形量ちっやくなってボルトのところにも影響が少ないっていう話。
1:07:29	何かちょっと理解がしきれて上がったところもあるんですけど、
1:07:33	衛藤、三菱お互いでございます。防護板が小さいとですね曲げ、曲げるのに必要な荷重が大きいですので、はい。丹伊奈。
1:07:45	併用といいますか、ある一定の変位量を変形させるためのエネルギー大きくなりますので、そういう意味で、同じ吸収エネルギーを与えた同じ形時の変形が小さいというふうに考えてございます。
1:07:59	そうした中での理解でコアでございます。
1:08:03	規制庁たりですね、一応確認なんですけど
1:08:07	板があって開く突っ込んだちょっと図1があって、今言われてる変形量っていうのは、衝突位置から、要は、橋の辺までの距離が高い方が固定されてるところとその荷重がかかっているところの距離があって、
1:08:22	変形が大きくなるって話をされている。要は衝突位置だけ見るんだったら板まで頑張るんちゃうのか関係ない気がするんですけど、変形量っていうのが先ほど最初に作って話しされたと思うんですけど、
1:08:33	それって衝突率から固定たまでの距離でしたっけ、何に効いてるって話されたんですよ、今。

1:08:40	水井塩田でございます。そうですね、今例えば、二瓶知事の防護盤両端支持のことで本をイメージしていただくと、真ん中にショートされた時が5番全体として変形後大きいので、真ん中にちょっとさせた場合を想定してございます。その時の変形量はっていうところ言うと、
1:08:56	5番の間にチダ場合は全長の半分ですね、そのの、
1:09:02	作業で毎朝っていうのは効いてくるというふうに考えて、
1:09:05	本が大きいほうが曲がりやすく、変形が大きいので、ポルトに対する荷重が大きいというふうに考えてございます。
1:09:14	古作です。変形量っていうのが、ある意味、
1:09:20	何、貫通長さみたいなことを言われているんだなということで理解をしたんですけど、
1:09:30	それはそれでいいですかね。
1:09:41	三菱重工の高城でございますけど、場所、貫通長さ、
1:09:45	いう言葉をちょっと只野っていうのが、ごめんなさい、古作です。貫通という言い方が悪いですね。
1:09:53	防護盤の平面と垂直方向に防護盤が変形する長さ。
1:10:02	そう。それはおっしゃる通りでございます。荷重点から支持点までの長さというかそういうところでございます。すいません。果樹。コサクですか10点から支持点の長さという、
1:10:14	防護盤の半分の距離というこ半分の長さと言ってるだけのような気がするんですけど。
1:10:21	私も言ったのと、垂直に向きが違うんですけど、
1:10:26	あそこ。
1:10:30	商売を。
1:10:35	そうです。すいません。申し訳ございません。三菱重工の仲でございます。そうですね今、
1:10:40	おっしゃったその飛来物が侵入する方向の変形量ということではおっしゃった通り、須藤でございます。はい。補足です。何でそれでボール等の評価の厳しい云々っていうのが出るのかなっていうのがわからなくてですね。
1:10:54	ぼる等の、
1:10:57	にその伝達スルーにわあ、その間で5番が塑性変形をしているわけで、
1:11:03	ボール等に伝達していってるところでのボルト部での防護盤の変形量と、
1:11:10	いうのが、
1:11:13	実態に、影響するんだらうと。
1:11:17	思ってるんですけど、

1:11:19	それを
1:11:21	表すパラメータになってるんですかね。
1:11:34	三菱事項の高城でございます。防護盤の変形が大きい、或いは衝突部のところのたわみが大きいと、そのボルトの支持部における、
1:11:44	母岩の変形量も大きいというふうに考えてございます。
1:11:48	古作です。申し訳ない。堂々めぐりで考えてますだけだと、何でっていうのを結局答えてもらってなくて、
1:11:56	例えばですね、本来の評価上はあまり意味ないことは承知の上でなんですけど、
1:12:02	今中央で当たることを考えてますが、端っこで当たった場合、当たってる場所のボルトが一番厳しいですよ。
1:12:13	三菱重工の中でございます。そのご指摘はご指摘の通りで、今例えば、
1:12:19	支持部のすぐ間際で飛来物が当たるとその間際の防護ワーポイントに対しては厳しい結果になると思ってございます。はい。ですけども、今、この防護盤が脱落するかっていう観点でいきますと、
1:12:33	そうなの。古作です。なので、本来の評価上では違いますけどっていうのはそういうことなんですけど、一応全体たわみ量と、
1:12:44	ボルトの評価上厳しいところというところの説明で、あまり合理的な説明になってないんじゃないかということでの例示としてお伝えした。
1:12:56	ものです。結局、直近であった場合にワー防護坂野た未了は大きくなくても、ボルトには厳しく荷重が伝達することがあると。
1:13:08	ということなので、ボルトに厳しいっていうのは何かっていうところのパラメータとしてはあまり適切じゃないと思ってます。一方で、言われるように
1:13:19	脱落防止という観点からの評価だと、V全体が影響を受けると。
1:13:26	いうことを、踏まえた評価をしなきゃいけないっていうのは理解をして、
1:13:35	間のところに何か条件というか評議員の
1:13:41	整理が必要なのかなというふうに思っ
1:13:44	たんですね。
1:13:50	三菱重工佐藤ですすみません、ごめんなさいちょっと途中、途中から参加したんで、10分議論についていけないまま発言するかもしれません申し訳ございません。
1:14:00	今、藤コサクさんがおっしゃっていただいたやつをちょっと言葉を言い換えてるだけなのかもしれないんですけど、ものの脱落の評価の考え方っていうか衝突に対しての考え方って二つありまして、
1:14:14	一つは物が飛んできてあるエネルギーも飛んできたものを、あまり変形できないものはボルトの近くに当たった場合物が変形できない。

1:14:26	非常に短い時間で当たってしまう時に、荷重がすごい出るんですよね。そうするとその荷重がすごい出た、そのあと周辺っていうのにすごい巨大な荷重が発生したことで、
1:14:36	ボルトは、まず破断しますということで、
1:14:40	こういった複数箇所で止めてるようなものは近くは出しても、徳はその瞬間の荷重っていうのは遠くまでいってるわけじゃなくてその瞬間、近いところ、
1:14:51	を中心に壊れるので、そこについては、確かに壊れるのは壊れるんですけど、遠くのものについては、そんなに影響が出ないという判断をしております。それがまず書いてないっていう話があります。
1:15:04	片や、こういった全体へ戸井田が落ちるかどうかっていうのは、もう一つ次のものがあるって今度は板が変形する量が大きくなると。
1:15:16	その荷重荷重そのものちっちゃくなっていくんですよね。
1:15:20	荷重はそのままちっちゃくなるんですが、遠いところにモーメントアームみたいな形になって、遠くにあるボルトに対してよりおっきい荷重が発生することが、
1:15:32	ですね、それをちゃんと9、書き分けずに、校舎だけを、多分今書いてるんだと思ってます。なので、そういった事象をちゃんと整理して、全社はこうだから、それに対しては、
1:15:46	あまり問題がないということを前提でちゃんと書いた上で、当公社側全体が落ちることを懸念することで、板が大きく曲がることを想定した、
1:15:59	考え方をちゃんと説明しその前提のもとで
1:16:04	この伊田代表にできるんだ、もしくはそのボルトの固定点、等間隔でこうしてますみたいな話とか、それから、
1:16:14	考え方もですね基本は静的な荷重を持っていき、ある程度設計をした上で、最終的には動的な荷重として手計算で追えないところもあるので、
1:16:25	LS-DYNAで確認したいというやり方をしていますので、その辺の考え方を綺麗に整理して、設計思想としてやるもの、それから、解析確認として確認するもの。
1:16:38	ていうのをちゃんと書き分けられればいいのかというふうに考えてますごめんなさいちょっと勘違いしてたら申し訳ございません。以上です。
1:16:44	コサクです。勘違いはしてなくて、まずその整理が大事だというのは私も合意します。その上で、母岩の大小、モメンタムの大小というのが、
1:16:58	今言った観点で本当にボルトに厳しくなってるのかっていうのをもう少し、
1:17:05	わかるようにしていただくといいかなと思っ
1:17:09	てます。結局変形量自体、その何だろう。

1:17:16	その防護盤と垂直方面への変形量っていうのが、同一であれば、
1:17:24	アド同一、同一じゃなくて、大きいほうが大きいんだと言っているから、
1:17:33	そうなるんですけど、何
1:17:37	かなってというのがちょっとよくわからん。
1:17:41	なくてですね。
1:17:50	そうす。
1:17:52	結局塑性変形をしている状況なので、小さい場合は、菅。
1:18:02	受けるところが部材としては少ないから変形量多くなるんだろうなと。
1:18:09	変形量変革と言った方がいいかもしれないですけど、
1:18:18	それでしかも距離としても短いから、ボルトに影響しやすいんじゃないかという、
1:18:26	そういうふうなイメージを持ってしまうのでいやそうじゃないんですっていうのを説明できますか。
1:18:36	三菱重工佐藤です。多分コサクさんがおっしゃってることは理解はしたつもりです。ちょっとどう書くかっていうのはあるんですけどもやっぱり
1:18:48	何ですかね、先ほど二つのモード分けた話を、
1:18:55	原理としてはわかるんだけどどういうふうに変えたらいいのかっていうのをちょっともう1回整理が要るかなと思ってますんで、設計思想としては、ある意味繰り返してみたいになりますけど近いやつはもう壊れる。
1:19:09	遠いやつだけで持たせるっていう、思想、
1:19:14	なんでその遠いやつに対して、近くのやつはもう期待しないぐらいの距離で、その設計してるっていうことを、どう書くかだとは思っていてその上で、
1:19:25	じゃあ、そのどれを近いやつとしてどれを遠いやつとしてるのかっていうのを綺麗にちょっと再整理してわかるように書かないといけないんだなっていうことは理解しました。それができてないと多分、本当は全部書かないと意味がないってことになりかねないのでですね。
1:19:39	その辺の、ちょっとごめんなさい楨書き分けが多分できてないので、
1:19:44	幾つか例示しながら、ここは壊れることにしてここが遠くにあるから、ここの変形に対してこう変わりますっていうのをちょっとうまく書ければ、
1:19:55	書けないかなとちょっとイメージだけで考えてるちょっと一旦書いてみて、
1:19:59	ちょっと正義できればなと思いますごめんちょっと答えになってなくて申し訳ございません。
1:20:04	はい。古作です。

1:20:06	言わんとすることは伝わったというのは、感覚を用いました。で、結局5メーター、どうどんなモメンタムなるモメンタムついてくるといけないのかな。
1:20:19	モーメントになるのかと、というようなところでイメージが湧いてこないという古藤なんだなというのが自分の疑問のポイントだと思う。
1:20:31	出て、今言われたところでいうとやっぱり距離の話になってくるんですけど、であればどれぐらい離れてるのかっていうと、長いものを取ってしまったら、長いから大丈夫ですって結論になっちゃってもうちょっと短いのは西結局なっちゃうんですよね。
1:20:48	そういうところの疑問を払拭するように整理をしていただきたいと思います。で、
1:20:54	概念的にいえるのであればそれが一番かもしれないんですけど、それを、
1:21:01	補強補強というかわかりやすくするの2、例えば、補交代。
1:21:07	大局的なもので評価をしたらこういうふうになりますよというので応答のひゅ説明をしていただくことによってほらこういう挙動になるでしょと。
1:21:16	いう説明をされるのも、
1:21:19	こういうところでの、
1:21:20	説明、補足説明資料として使う分には有用だと思いますので、なるべくわかりやすいように、整理をして作業していただければと思います。よろしくお願いします。
1:21:34	三菱重工佐藤です。検討させていただきますありがとうございます。
1:21:40	はい。成長と2列。
1:21:42	あと1点だけ、せっかくメガの方おられるんで聞いてみたいんですけど、
1:21:46	これでよく解析キーをされてるのは理解してなんですけど、これ返せ切って、ある程度なんか二つ下の要素を込みながら
1:21:54	条件設定してってるものなのか、それとも条件としてはもう入れるものは、解析としていじれるところってのがそんなにないものなのか何が言いたいかっていうと、
1:22:04	いじってどうにか任せてしまうようなやつなのか、でもいじれ要素がなくて、結局今回50数本あって、シャッポ生き残りますよっていう結果が出ていて、
1:22:13	ちょっとタジツは全部試運ですっていうのになり得るのかどうかっていうのが少し不安があって、
1:22:18	解析として使えるっていうのは理解するんですよ別に使うをどう評価に使ってるっていうのを、書いていただいたらわかりつつなんですけど、

	どれぐらいの解析なのかっていうのが、ちょっと使い切らんところがあるので一応聞いてみたいんですけど、どういったものですかね。
1:22:33	身長1ページの高木でございます。このL3の解析自体はモデル化の方法としていろいろパラメーターではございます。ただ、
1:22:44	まず、外崎31でご説明してる通りまず、5番の設定方法につきましては、実験結果と比較して、実験結果を再現できるようなモデル化。
1:22:57	方法を構築してございますそれを今、この防護盤につきましても踏襲してございます。なので今、
1:23:04	この外崎と違う、減少された内容と違う点としましてはもうボルトのところだけというふうに考えてございます。ボルトのところではいきますと、この場面の瀬田の方につきましては、
1:23:15	このボルトの強度は規格値が定めてございますし、ばねの硬さにつきましても、ヤング率とか、あと寸法関係で等ボルトの径、そういったものを、
1:23:26	挙げられたものを使って、求めてございますので、荘司小針小針の求め方に、あまり長く姿勢とかそういったものはないのかなというふうに思っております。
1:23:37	以上です。規制庁タジリで何か話されました。
1:23:42	ごめんなさい。三菱重工さんとすいません、ちょっとこのパラだったところ多少あるかなと思っていて、例えば羽田みたいな観点でいくと、規格値を使っておけば、大丈夫なもの大丈夫じゃないもの。
1:23:54	ていうのもあると思うんですね。実際の強度と、規格値っていうのは物が壊れる壊れないという観点では、通常は規格値を使っておけば、そこで担保されるっていう形になるんですけど、
1:24:08	ボルトの場合にしても、逆に固定が悪くなる良くなるみたいなどころはあるので、その辺の多少の規格値使ったことによる、何ていうんすかね。衛藤小。
1:24:23	早めに塑性変形に入っちゃうかどうかとあって、そういうところは多少はあるんですけど、ボルトの変位のレベルってのほとんど、非常に小さいレベルなんで、そこは実を言うと、企画室、船型については、
1:24:37	若干非保守的なところもあるかもしれないんですけど、ほとんど解析上、実がないレベルかなと思っているのと、最終的な判断という観点では、菊池使うこと言って早めに判断しますんで、他のところへの荷重分担が早めに増えていきますんで、
1:24:54	今やってるような全数破断するかどうかみたいな、解析にとっては、実現象に対して、保守性は保っているというふうに考えてごめんなさいちょっと蛇足かもしれませんが、以上です。

1:25:07	規制庁館です。蛇足ではなくて先ほどお話の中に出てきたんですけど、補足説明資料の31において例は多分地形の試験結果とかも踏まえた上で今回の解析ってのはこういうふうに保守的な結果が出るんですよっていうのを、データ比較しながらやって出していただいているのでわかりよくて、
1:25:22	なんで板については別にもう作る場所はないと思って30というものを作ってないんですけど、その中で今回のボルトの話も出てきた中で、要はボルトの評価において、
1:25:33	ボルト評価においてどれぐらいの影響が出るのかっていうところを考えたときに、
1:25:38	先ほど言ったような不確かな部分がある
1:25:40	重要だと思って
1:25:41	先ほどおっしゃられたようにこういうふうな解析条件設定してるので要は、非保守的な結果が出る要素はないんですよという説明を、多分考察して書いていただくと、この解説の位置付けがわかりやすくなって、そういうのをこの補足にて欲しいかなというふうに思っているところがあって、
1:25:56	パラメータとか何か極端な添付に全部変えてみればいいだけの話で、補足に書くのなくなるじゃないかって言った時に、いや、申請書に考え方だけ書くのも変なんっていうこういう補足の考え方、要は
1:26:06	これこれこうだから妥当だと考えるっていう、事業者の思想の部分も入っちゃってるかもしれないですけど、そういったところがあるべきのかなというふうに思ってそういうのって書けますかね。
1:26:21	三菱重工佐藤です書かせていただきます。ありがとうございます。院長谷井です。よろしく申し上げます。
1:26:29	分析、
1:26:38	院長補佐9です。
1:26:41	大体、話はできたかなというふうには思うんですけど、
1:26:50	等、
1:26:54	77ページの2の第2-20図なんかを見ると、
1:27:01	ボルト本数はそれなりについてますけど、何点指示かかっているとするとも4点支持っていう感じがしていて、均等2、
1:27:11	配置しますという表現でこれはいいのかみたいな、
1:27:16	気もするんですけど。
1:27:19	その表現はどう、どう考えればいいんですかね、後のはりとの関係っていうのもあるような気がするんですけど。
1:27:43	日本エレベーター下でございます。図の第2の20図は、張り出し部の張り出し部じゃないか。

1:27:53	底面、面部の鳥羽房坂野谷津になってございまして頭脳江藤、右左に配置しているグレーの梁に対してはもう、
1:28:04	5番を取り付けているというような、
1:28:07	構造になってございます。
1:28:09	確かにコサクさんのおっしゃった通り等間隔でつけてるというよりは、四隅につけてるだけじゃんっていうような、
1:28:17	やっぱりそういう疑問をいたしましたんで
1:28:20	なんでしょうね。
1:28:22	うんと。
1:28:24	ちょっと表。
1:28:26	前、前段に出てきてた文章のちょっと表現とかがちょっと悪いのかなって思ってるところなんでちょっとそこを、
1:28:35	ちょっと別な表現に変えるかっていうところをちょっと考えたいと思います以上です。
1:28:40	はい。補足です。
1:28:43	どういう方向にするのかもいろいろ考えていただいたらと思うんですけど。
1:28:47	私としては、等間隔が等間隔という、き
1:28:54	それなりの感覚で全体的に指示するんだと。
1:28:59	いう方針なのであれば、2点と言わなくても3.4点と、残るはずでと。
1:29:05	思ってたんですけど、これだと2点しか残らないっていうことはありえて、ただ、後ろに梁があるんでって先ほど愛知工場って言ったのはそういうことなのかなと思うんですけど。
1:29:16	そうであれば、そういうように配置しますという、
1:29:20	構造設計ですかね、いうようなことを言っていただくし、ということだし、ボルトつ追設して均等にというところに行くのか、
1:29:30	自己針のことを言うのかよくわかりませんが或いはその分らーと垂れ下がってもいいんだというのか。
1:29:38	少し考え方を整理をして提示いただければと思います。
1:29:46	運用限度幅です了解いたしました。
1:29:49	規制庁田尻です。若干関連してなんですけど、今のやつでいうと2077ページ2-20が一定で2-21とかでも使ってっていうところになるんですけど、
1:29:59	2-20の付け方と2-21のつけかただと。
1:30:03	ボルトの本数っていうか、何か配置が全然違ったりはするんですけど、さっき言った代表性の話にまた戻って恐縮ではあるんですけど、

1:30:11	つけ方っていうのはそこまで聞かないと思えばいいんですよ。要は今日絶えず様子見についてれば、その間隔の途中で2回ついていても、一定間隔でつけても変わらんというものなのか。
1:30:22	パッと見るんだったら2-22-21の方が何か抑えそうな気もするとかっていうのがあるんですけど、何でここらっていうのは聞いてないと思えばいいんですかね。
1:30:43	日本原燃たかですちょっと質問に頭ちょっと理解しきれなかったんでもう一度お願いします。そうですね77ページの2-21があって、D断面でいうと、
1:30:54	丸等がついてそんな場所が7ヶ所ぐらい書かれていて、2-20でいうと、大きく4ヶ所ぐらいのボルトがついてそんな気がしていて、要は単純に謬の大きさだけっていうんだったら、例えば2-21-D断面の方がでかいんですけどっていう話になってこっちで評価するでもいいんですけど、
1:31:11	2-20って本当の四隅についてるパターンだとして、
1:31:15	2-20の評価っていうのは2-21位のB断面の評価に包絡されるのかどうか、あの板の大きさだけで、その説明がつくものなのかどうかってのがちょっとぱっと見わからなくて、
1:31:24	要はその前のページがたくさん図ついてるんですけど、Vのつけ方結構千差万別で一定距離っていうのの書き方の話に結局なっちゃうのかもしれないんですけど、
1:31:33	距離を離れた上で様子見て売っとけばいいんですけどっていうのが基本概念であればそんな影響はないのかもしれないんですけど、つけ方がそれぞれ結構違う気がするんですけど、そこが解析の、解析の評価益でも評価でもいいんですけどそこに与える影響っていうのはそんなにないっていうふうに考察しているのか。
1:31:48	そうでないんだとするとなぜ、その取り付けの考え方っていうのとは関係なく、痛手開発で済むのかっていうところがわからないんで説明して欲しいという趣旨です。
1:31:58	日本原燃田仲でございます。すいません、そもそもちょっと説明を1個飛ばしていたところがありまして、投資事変以外にも飛来物が飛んでくるへと向きっていうものを鉛直なのか水平方向なのかで
1:32:10	速度が変わりますのでそっからの観点でも選んでいるという説明をちょっと失念しておりました。2-20については鉛直方向の飛来物の衝突によるものとしての代表選手となつてございまして、
1:32:24	2-21につきましては水平方向から飛んでくる飛来物に対する代表ということで選定してございます。以上です。

1:32:32	はい、規制庁藤です。2-2と2-1はそれでいい気がするんですけど、今のご説明だと、水平方向において、D断面よりも要は付け方バーなんだろう、偏ってと言うべきなのかわかんないんですけど、
1:32:47	これで結局ってシースが加工加工の一井知材で何かボルトの位置が決まってるような気もするんですけど、こいつだと3億円ですし、2年以上という形でやると、
1:32:58	水平方向に2辺のやつってあんまりないと思えばいいんですけど。
1:33:05	日本メーターからSA等ないです。はい。規制庁、梶田からこいつが代表選手になってで、鉛直方向っていう意味でいうとそもそもいけば、意味わかってきたんですけど、そこらの考察も込みで書いていただけると多分わかりやすく、そうですね。
1:33:21	何か図見ると結構いろんなパターンがある中でなぜなのっていうのか、多分、現在の中では1個1個潰して行って選んでるからわかるんですけど、これは結果だけを最後の三つだけ地図で言うと、
1:33:33	ただ、
1:33:34	奥さんはそれは違うだろうけど、他にもいろいろ違うじゃないかってどうしても思うところがあるので、代表ケースが最後あれになるっちゃうのは行ける気がするけどその全体をどう整理してあいつになったのかっていうところもちょっと補足いただきたいんですけど資料上できますかね。
1:33:49	日本原燃田仲でございます。我々のやっていた作業で全数があってそこからどういうパラメーターの違いがあって、
1:33:59	それでその結果代表が何になったのかっていう代表選定の過程の表現を文章で今、笹と書いてるだけなのでそこについて当間拡充したいと思います。以上です。
1:34:12	はい、規制庁として特に2年以上で指示って言ってるんですけど、2年以上って2も3も4もあったりするので、そこに差はないのかっていう考えにどうしても至ってしまう気がして、
1:34:23	極端な、これ3のパターンと4のパターンとかもあるんですかね。
1:34:30	三菱重工の高木でございます。
1:34:34	A4におきまして側面、即、水平1の防護板ってそれほど数がなくてですね、
1:34:40	3ページのパターン、
1:34:43	だけでございます。これが
1:34:46	反対判断、販売過程で南野時田面と同じものがついているというところでございます。以上です。それじゃおかしいですね状況になっちゃうわかってきました。だってそこは分娩なんか確かどっかに分類か何かの一覧。

1:35:02	そのところろろ等多分結びつけて書いてもらえとなおわかり体の図がそれぞれ載ってるんで見とけばわかったような気もするんですけど、すみません1回この図面でV1まで見なかったの
1:35:13	状況はわかったんですけどそこが導き出せる考え方変えていただけるとわかりいいかなと思うんでよろしくをお願いします。
1:35:19	日本原燃田仲でございます。曾田津野議事録の投資基準は68ページからですね取り付けてる5番の取り付けのタイプ。
1:35:29	ていうのを図でまとめて表と図でまとめてございますんでそれと関連付けるような形で説明をしたいと思えます。以上です。はい、瀬尾谷ですよろしくをお願いします結局表でまとめたやつが、後の評価のところにどこへどう影響するかってやつでそこに来そうなパラメータさっき言った二瓶知事と三瓶CTOに違うんだけど、
1:35:48	自主的にこれは3ページしかないんです。1個の3ページしかないんですって言われたら、それはそれで代表ねってなるような気もするので、
1:35:55	代表導き出すまでの過程がちょっと一瞬飛んでるような気がするんで、その部分よろしくをお願いします。
1:36:02	で、一応、ちょっとこの資料についていろいろ言っはみたんですけど、
1:36:07	じゃあもう1回僕も三浦医師はするんですけど、他のやつ、なんか、実は原燃なんか自分たちの内部だけに持ってるってやつはないと信じてるんですけど大丈夫すかね。
1:36:21	あ、規制庁コサクですちょっと答えにくい質問でこういう気がするんですけど。
1:36:25	そりゃあ、
1:36:27	他にも
1:36:30	念のため解析して確認してますよみたいなことがあるような気はするんですけど、今の質問は着眼点として他にも県、
1:36:38	評価プロセスというか、評価項目というか、
1:36:42	或いは設計項目っていうのがないかっていう質問と思えばいいですか。すみませんそういうすみませんちょっと中間残し聞いてました。
1:36:55	古作です。次、それに関連するところで質問なんですけど。
1:36:59	V1本DC荷重的には指示できるものにしますと。
1:37:05	言われてたんですけど、先ほど図とかを見ても、
1:37:08	1ヶ所に相当のボルト本数をつけていて、
1:37:14	なんでこんな頑丈につけてるのって非常に疑問なんですけど、何でこういう設計なんですか。
1:37:29	三菱小滝でございます。

1:37:34	オッス。
1:37:36	あれね家業じゃないかと言われるとちょっと。
1:37:40	どうどうこたえたいかあれですけども、
1:37:47	通常やっぱり起こある程度の大きさがあってこういう剛性を持ったものに対して、
1:37:54	C分をある程度剛性強度を持った補填方法をするという設計方針で、
1:37:59	大きさに応じて、この支持部のボルトの本数は定めてございます。
1:38:09	三、四十って、
1:38:14	それはあれですか、こそ規制庁コサクですけど、
1:38:22	拘束条件として、点指示のような形じゃなくて、ある程度
1:38:30	曲げを拘束するような形面で抑えるんだみたいなことのある思想があるんですかね。
1:38:46	三菱重工佐藤です。ごめんなさい。
1:38:51	複数のちょっと理由があってもともと荷重、静的な荷重からですね、ある程度そのブロックごとの荷重みたいのを算出していてですね。
1:39:02	そのブロックごとの荷重っていうのが決して小さい荷重ではない。
1:39:06	ので、例えば巨大なボルト一本みたいなのって普通はしないんですね、複数のボルトを配置するにしています。かつ、それを1列にするのがいいか複数列にするのいいかっていうと、普通に考えるとまあまあ面的には受け方をしたいので、
1:39:22	こういった構造物の場合は、こういったなんていうか列配置みたいな形をするケースが不一般的だと思います。
1:39:33	またちょっとついでなんですけど
1:39:36	さっきの田尻さんの質問にちょっと近い形になるかもしれませんがそういった形で考えますので、やっぱ静的課長から箇所数を決めて、そこに例えばV八本ブロックみたいな形で、
1:39:51	配置してるんですけど、高層階の個別の箇所数がどうしても多く取れないようなところは箇所数を少なくして、1ヶ所当たりの荷重が見かけ上でかくなるんですけどボルトを太くして、
1:40:04	固定できる荷重を、これと大きくすることによってその1ヶ所当たりの過剰が大きくなるんですけど、耐えられるような設計にしたりとかってちょっとそういう配慮とかもしたりも、
1:40:18	している部分がございます。ちょっとついでの言葉まで入れちゃったんで、おらっしゃらごめんなさい。以上です。
1:40:27	はい、古作です。多分そういったところろうでの、
1:40:32	設計思想が
1:40:35	この前にそのボルトの設計の話があったと思うんですけど、ないような気がしてですね、

1:40:43	飛来物の貫通に対する対策っていう評価ではこの部分だけでいいのかもしれないんですけど、風荷重、
1:40:52	を踏まえたりとか、自重を踏まえたりとかいろいろと、検討項目があると思うので、それ全体としてどういう設計なのかっていうのは、
1:41:03	この図補足じゃないかもしれないんですけど、しっかりと説明しといていただきたいんですけど。
1:41:11	大体ここでこういうふうにしうかなみたいなイメージありますか。
1:41:15	この場でもいいんですけど、
1:41:23	日本原燃田仲でございます。
1:41:26	そういった、
1:41:27	防護面とか、ネット自体の構造の説明というものはこの外竜巻 16 が、その役割を担っている資料だと認識していますのでサトウ竜巻 16 の中にその要素を書き加えたいと思います。以上です。
1:41:47	はい。核熱よろしくお願いします。
1:41:52	はい。規制庁田尻です。
1:41:54	そう。ちょっと僕話いろいろ来ましてはいただいたんですけど、
1:41:59	ちょっと何か最後の振り返り分になってもいいけど、これ修正しようとするのとどれぐらい時間かかりますか。
1:42:12	そ、そますか。はい。
1:42:42	先生と新居さんの検討しながらで構わないんですけど今本部で僕はさっき途中でも言ったんですけど、
1:42:48	本文最優先事項添付の申請書の一部なんで当然固めていかなきゃいけないくて、補足も重要なんですけど、タイミング的にはワテンポおくれてでも何とかありますこの添付した方が今ただ本文添付を固めるために必要な側がちょっと見せて欲しいところあるんですけど、
1:43:04	そういった意味でいうと、今回は添付にそれなりにはねそうなところなので、以下はどうかというのを気にしてるというのが実態です本文という意味でいうとある程度固まってきてるかなというところではあるんですけど、添付の部分に関して、特に今の部分のところが、
1:43:19	いつ確認できるかなっていうのを把握したいっていうのが趣旨です。
1:43:46	船長タジリです検討中だったっけ。途中で構わないけど、何か聞こえてますぐらいの話してもらえるとたまにちょっと本当に音声通話が悪くなってる時があるので、把握がしやすいんですけど。
1:43:58	申し訳ございません。日本原燃の蝦名です。今ちょっと話をこの中でしまして、24 日木曜日ですね。
1:44:10	にですねその 00 の方を提出したいなと思ってますんで、ちょっと補足食うも同じぐらい、

1:44:21	もうワンテンポ遅れるかもしれませんがそういった、提出のイメージでいきたいと思います。以上です。塩谷です。24点、割と早い時間に行きますかねそしたら別に25とかでも頑張ればできるんですけど、24の定時後とかに来られるとさすがに、
1:44:36	もうちょっと時間が欲しかったりとかあるんですけど、24ってどれぐらいの時間のことですかね。20年で木曜日ですよ多分。
1:44:51	日本原燃の蝦名です。ちょっと今の予定だとですね23、ちょっと休日なんですけどここで作り上げて24日に、いろいろ諸手続きみたいなことをするというふうな
1:45:05	見方になってますんで、そういう意味だと、あんまり朝早い時間というよりはやはり夕方近くの提出になってしまうかなというふうに考えてございます。以上です。
1:45:15	はい。規制庁田尻です。作業もあると思うので
1:45:21	ちょっと出てきたものを見ながらまた家考えたいと思うので程度除去ばかりでした。
1:45:26	で、竜巻シリーズ、ちょっともう1回見返しませんと前提ではありますけど一応自分の方から本日は以上なんすけど基準は他に何かありますでしょうか。
1:45:38	なければ。衛藤。
1:45:40	一応振り返りを原燃からお願いしたスケジュールは大体今お聞きしたところであるんですけどちゃんと作業項目認識してるかという意味で振り返りをお願いします。
1:45:54	日本原燃の瀬川です。ちょっと振り返りに入る前に、ちょっとついでというわけではないんですけども、認識の合わせをさせていただきたくてですね、類型化について少し認識の
1:46:09	認識合わせをさせていただければと思いますが、聞いていただけますでしょうか。
1:46:16	しちゃったんです効かない選択肢も外気がするんで、どうぞ。何か説明したいことがあれば。はい。
1:46:21	はい。そしたらですね外竜巻0001の資料をご覧になっていただきたいんですけども、
1:46:30	81ページ。
1:46:32	になります。
1:46:39	こちらの添付の全体像を示してるところになりますが、一昨日のですね耐震ですとか在庫の議論を踏まえて竜巻の構成がどうなっているかといったところをちょっと改めておさらいをさせていただきたいと思います。

1:46:55	右端の方見ていただきますと別紙4-4-5といったところで、計算方針、
1:47:02	ほぼここで述べる形になりますこの計算方針のまとめりごとに、右側の計算書がぶら下がっていくという立て付けにしております、
1:47:12	せんじⅡの建物耐震だったですかね、ああいったところで強度評価の方針がないとかそういったわずらわしい状態にはなっていないくて、
1:47:23	一通りとしてはですねまとめり累計を類型ごとにまとめていくという思想は現時点でも入っているという認識でございます。
1:47:33	で、よくよくですねこの計算書の中身とか今回耐震とかで議論させていただいている添付書類のどこにこういった情報を預けるんだと。
1:47:44	いったところまで踏み込んでこの竜巻の資料を見ていきますと、
1:47:49	ちょっと結論の方になっちゃうんですけども355ページちょっとご覧になっていただけますか。
1:47:58	松丸の作り方としては合ってると思っているんですが、実際の中身の記載の分担といったところで、
1:48:05	ちょっと今回、新SA設備が冷却塔と防護ネットというような形ですごく限定されているといったところもあってですね、355ページから冷却とちょっと進みますけれども、ページちょっとめくっていただいて、
1:48:21	えーとですね。
1:48:24	追えばですね、362ページ。
1:48:34	こちらの23、2.3.1のところの評価方針で、これちょっとシャンプー的な紹介になりますけどもこの衝突評価のフローというのが載ってます。
1:48:45	で、す。昨日までの議論を踏まえるとですね、こういった内容というのは、本来評価方針側に預けておいて、ここの計算書ではもう改めて同じようなことを繰り返し述べる必要はないということでこういうの
1:48:59	本当は消してく。
1:49:01	整理になるのかなというふうに認識してございますその次のページの363ページも評価フローな点がありますけれども、これも上流の図書で触れられるべきものというふうに認識しております。
1:49:13	こういった形でちょっと初回申請で申請設備が限定されてるところを踏まえてですね、今の計算書はこういったフルスペックで必要な情報を、
1:49:25	再掲させてると、というようなちょっと状態にはなっておるんですけども、
1:49:30	類型としての立て付けというのは一応整理ができていると、というようなところが前提にあるので、ちょっとこれは第1回、規制庁コサクですけど、何か

1:49:45	怒られるだろうかと予想して、
1:49:48	しゃべっておられるのでかわいそうだから止めましたけど、
1:49:52	そういうのでは、第2回と整合がとれないでしよってということで、今回限定はして、限定機器ではあるけど、耐震の方では、支給ということで、最低限、今見言われたようなところは、
1:50:06	方針がにゆだねて、計算書を整理をするっていうことを今やってる最中じゃないですか。
1:50:12	はい。その通りです。
1:50:15	コサクです。であれば、耐震でやるのに何で竜巻でやらないんだっていうことになりませんか。
1:50:22	はい。
1:50:23	はい。はい。その通りだと思っておりますその通りだと思っております、
1:50:29	最後の背中の一節が、等が欲しかったところでございます申し訳ございません。はい。以上です。はい、古作ですやることは耐震と同じ単純で言われたようなところでバスバス削って行って、
1:50:42	配置図もいらなかなと思うんですけど。
1:50:48	と、ただそのあと脳構造図なんかワー
1:50:52	ええ。
1:50:53	本、今後の構想みたいわかるだろうという部分はなくはないんですけど、
1:50:58	あっても、
1:50:59	おかしくはない。
1:51:02	そのおかしくはないというのは、具体的には、
1:51:08	藤。
1:51:10	30
1:51:11	366 ページですかね。具体的にどこを評価部位にしていますかと言うことは、
1:51:20	計算結果を示す上では、必要なことなので、何らか変えていくんだらう。
1:51:27	いうところそれを書くのであれば、それって何っていうのがわからないといけないので構造図もつけましょうというのはわからなくはないです。
1:51:36	全体の構造図の方を呼び込めばわかるじゃんっていうところはあるのでそこは原燃の上林で整理をいただければ、
1:51:47	それでその色の部位というのも少しありますけど、文章としてこんなに書く必要があるのかと。

1:51:54	いう気はしますので、その点でⅣ末を少し整理をいただいたらいい。
1:51:59	いうところ。
1:52:00	です。
1:52:02	基本的に
1:52:04	何ですかね、方針でこういうような考え方が示されていれば、もう結果だけ書けばよくて、こういったその理由みたいなのを一生懸命書いてるのは補足で入れてくれればいいと。
1:52:15	いうところかと思います。
1:52:21	はい。日本原燃の瀬川です。耐震がバーで載せようとしている情報とですね、横並び計ってですね、こちらの方をちょっともう少しスリム化するような対応をさせていただければと思います。
1:52:34	先ほどちょっとⅤの方で、
1:52:38	非常に重い宿題をもらっている中で、ちょっと同時対応でちょっと大変なんですから、
1:52:45	頑張っていたらこうと思っております申し訳ない。申し訳ないっていうのは、すいません、珊瑚向けに言いました。
1:52:51	はい。よろしくお願いします。はい。以上です。規制庁コサクですけど今の作業は、技術的にそんなにわかってなくても、機械的に作業できる話なので、
1:53:05	人海戦術が原燃の場合はできるんでしょうから、
1:53:10	それで対応されたらいいんじゃないかなというふうに思います。
1:53:16	植野セガワです。はい、承知いたしましたです。その際なんですけど、今共同計算の方針ところで、フローとかまで綺麗に落としきれてないところとかが一層だったと思っているので、その点を考慮していただいた上で
1:53:30	基本的には削る作業がメインになりつつも、削った時に前段の部分でちゃんとそこが受けてなかったら多田に聞いただけになってしまうので、前段で共通的な記載としてそこを移しつつ、消すものとかも多分出てきちゃうと思っているので、その点も踏まえた上で対応いただければと思います。
1:53:48	はい。日本原燃の瀬川です原燃のRRですけども消した結果として、それがもう書類から全体から消えるみたいなことも、
1:53:58	何回かやっておりますので、しっかり注意して対応したいと思います。以上です。
1:54:04	はい、規制庁田尻ですよろしくお願いします。
1:54:08	今の点も含めて振り返りと今の点に関するスケジュール別のやつ振り返ってる間に、ちょっと検討いただいて説明をお願いします。

1:54:19	はい日本原燃のサカモリでございますソト竜巻 16 の振り返りでございます。いろんなちょっと細かい点もご指摘いただいたと思っておりますが、
1:54:31	まず、大きいところとして文章構成のお話があったかと思えます。きちんと本文添付補正資料、それが流れが上流からちゃんと流れるような文書に、
1:54:42	見直す必要があるといったようなご指摘がまずあったかと思えます。あと、解析条件のところではいろいろ我々は知ってるけれども資料に落ちていないと。
1:54:53	一体主なご指摘があったかと思えます例えば防護板のサイズの話であったり、支持方法あと荷重の働き方とかそういったものがあったかと思えますそういった、
1:55:03	飛来物の大すいませぬ衛藤今解析を代表しているものの代表ケースの考え方であったり、ボルトの配置の考え方、
1:55:13	許容限界の 2 点支持のところですね、そちらの考え方とそういったものをきちんと記載することということでそういうのを取り組んでいきたいと考えております。
1:55:24	阿藤は今回の解析ですね非保守的な評価になっていないという考察を加えることといったような年ご指摘もいただいたかと思えますのでそういうところを盛り込んで再度、
1:55:39	申請書の方、少し補足説明資料、阿藤、須藤達大 00 ですかねを見直していきたいと思っております。最後が類型化関係でございますけれども、
1:55:51	計算手法とか、いろいろ耐震の今の議論とかを踏まえると、いろいろ
1:55:58	書き過ぎてるところがあるのでそういうのをきちんと修正することと、その際はちゃんと文章の流れがこれまたこれもですけどもちゃんと成立するように、修正することと、
1:56:10	言ったような点かと思っております以上です。
1:56:16	はい。
1:56:17	はい。日本原燃の蝦名です。すいませぬ。スケジュール的なところなんですけども、ちょっと先ほどの技術的な反映っていうのは、23 に出ると言ったのはですねどっちメーカーさんの方で、事故さんの方で、
1:56:34	作る案っていうのもあるんで、22 ぐらいに受け取って 23 みたいな、に作業するみたいなイメージだったので、それまでの間にですね、
1:56:45	何ですか、
1:56:49	累計というか、
1:56:52	方針ですね、共同計算の方針の打つもの消す。移すものとか、あと、削るものっていうのを、その期間でやることにしてですね。

1:57:04	一応、先ほどお話をさせていただいた、24日、同じタイミングで出せるように頑張りたいなと思っておりますがちょっともしかしたら、若干この整理の方が遅れるかもしれないです。以上です。
1:57:22	はい、規制庁館です。ちょっと状況は随時ご連絡いただきつつ、資料提出日とヒアリングで教えて消していければと思ってるのでよろしく願いいたします。
1:57:32	全体を通して規制庁が原燃が何か他にありますでしょうか。
1:57:37	日本原燃の瀬川です。
1:57:39	そうですね。今日ですね、先日ヒアリングさせてもらった火山の00資料の提出を今日予定しています。
1:57:49	今累計の件、説明させていただきましたけれども、
1:57:55	火山の方もやはり同じ構図ですので、火山の方も作り直しが発生いたします。ですが、まず先日のヒアリング内容の打ち返しというので今日の資料提出はそのままさせていただいてですね。
1:58:11	書類の構成の見直しといった部分は、一応、ちょっと今火山担当いないんですけれども、
1:58:18	24
1:58:22	竜巻と同じような24辺りを、一応秘書一つ目標に、
1:58:27	目標はい、日本エヌエビナです。衛藤。
1:58:30	多田も同じようなスケジュールでやるということで、今瀬川さんがおっしゃったセガワの方で大坂おりのスケジュールでやります。以上です。
1:58:42	はい。規制庁館です。火山については、木元委員そんな大層なコメントで書いたわけじゃないんですけどどちらでもおまかせしますのが一つと火山についてもよろしく願いますというので、
1:58:52	全部他って影響受けないでいいですかね。
1:58:56	第1回分で、ちょっとその認識だけ合わせておきたいんですけど、火山と竜巻秋山に共同計算があるので影響受けるだろうと今、わかったんですけど他ってどう考えてんですっけ。
1:59:06	はい。日本の猪瀬ガス外部火災がちょっとどうかなと思っていたところではあるんですけどもともとあの外部火災設計方針と評価方針をまとめて書いたりとかです。ちょっとイレギュラーな対応をしている。
1:59:19	条文で、今の流れで、大丈夫じゃないかなというふうに思っておりますが、引き続きちょっと精査させていただいて、
1:59:29	影響があれば、そちらもですね、構成見直して再提出をさせていただきたいと思っております。以上です。
1:59:38	はい。規制庁館です。
1:59:40	ちょっと特殊系な気がするのですが、影響があるかどうかというのは、検討踏まえた上でその結果説明させていただいて、

1:59:48	あれ、内部系内部系って内部事象系とかは大丈夫。
1:59:54	うん。はい日本原燃の瀬川です溢水薬品はまだ評価具体的な評価に入り込んでないといったところで、だ問題ないというふうに判断してございます。
2:00:06	その他のとせどれも設計基準下、江藤ほかへ変更なし条文たちですね、者たちはどう既認可の内容を読み込むかといったところの整理ですので、今回の影響はないと踏んでおります以上です。
2:00:23	はい。規制庁館です記載の中身的な影響ないと思うんですけど0シリーズっていうとさっきの目次みたいなところローで微妙に影響受けたりするかもしれないので、そこに影響ありそうだったらまた教えていただければと1回の申請範囲としてはそこまで影響なさそうで、
2:00:37	主には金田滝井についてっていうので理解をしました。
2:00:41	と他区政上腕年齢が何かあればお願いします。
2:00:48	よろしいですかね。
2:00:50	はい、それでは本日のヒアリング、今日ほぼなかったです。
2:00:54	本日ヒアリングこれで終了したいと思います。録音てしまう。